

工事名					令和4年度 都市構造再編集集中支援事業明科駅前広場整備工事(2工区)										
工事場所					安曇野市 明科中川手										
					金抜設計書										
工事概要										施 工 方 法			請 負		
○歩道部、駐輪場シェルターの新設工事とそれに付随する歩車道整備工事 ・歩道シェルター:L=32m ・駐輪場シェルター:W=8.1m×D2.2m 1棟 ・メッシュフェンス工事:H=1.5m L=14.2m ・歩車道整備工事等 ・電気工事一式等										施 工 期 間			契約日から 令和5年3月28日		
										担 当 課			都市計画課 都市整備係		
										工事担当課			財産管理課 施設経営担当		
										契約保証方法			金銭的保証		
										・別途指定する建設機械については排出ガス対策型の使用を原則とする。 ・この設計書で施工機械・仮設材の規格、調査条件等の記載及び「人、h、ℓ、%、日、時、工数、空m3、掛m2、日・回、日回、供用日、月」の単位により見積りのための参考数量を示したものは任意扱いです。 したがって、内訳書の作成や契約を拘束するものではありません。ただし、指定した場合を除きます。					

No.	名 称	規格・摘要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	「令和4年度 都市構造再編集中支援事業 明科駅前広場整備工事(2工区)」						
I	共通仮設費	積上共通仮設分含	1	式			
II	直接工事費		1	式			
	直接工事費計						
	純工事費計						
III	現場管理費		1	式			
	工事原価計						
IV	一般管理費		1	式			
	工事価格						
	改め工事価格計						
V	消費税等相当額		1	式			10% 相当額
	工事費計						

No.	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
I	共通仮設費						
	共通仮設費(率計上)		1.0	式			
	準備費	敷地整備、その他の準備に要する費用					
	仮設建物費	現場事務所等に要する費用					
	工事施設費	場内工事用施設に要する費用					
	環境安全費	仮囲い・安全標識・消火設備等の設置 隣接物の養生及び補償復旧費用					
	動力用水・光熱費	工事用電気・給排水設備費用 並びに工事用電気・水道料金等					
	屋外整備清掃費	屋外及び敷地周辺の後片付け 及び屋外発生材処分等の費用					
	機械器具費	共通的な工事用機械器具費用					
	その他	品質管理試験費 その他上記のいずれにも属さない費用					
	I-1 小計						

No.	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
I-2	共通仮設費(積上計上)						
	交通誘導員	交通誘導警備員B(昼間8時間) 昼間勤務 交代要員なし 2人 6ヶ月	120.0	人			
	I-2 小計						
	I - 計						

No.	名 称	規 格・摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
II	直接工事						
A	広場整備工事	A=0.2ha 土工事・舗装工事・区画線工事・排水工事・路側工事含	1.0	式			
B	建築工事	歩道シールド工事・駐輪場工事・ベンチ設置工事・既存撤去工事	1.0	式			
C	電気設備工事		1.0	式			
	II - 合計						

No.	名 称	規 格・摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
A	広場整備工事	A=0.2ha					
1)	土 工 事		1.0	式			
2)	舗装工事		1.0	式			
3)	区画線工事		1.0	式			
4)	排水工事		1.0	式			
5)	路側工事		1.0	式			
	A - 計						

No.	名 称	規 格・摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1)	土 工 事						
	掘削土工	土砂 標準 機械掘削	140.0	m3			
	床掘り	土砂 標準 機械掘削	100.0	m3			
	埋戻し	発生土 最大埋戻幅1m以上4m未満	50.0	m3			
	路床盛土	2.5m未満	10.0	m3			
	残土処分費	運搬共(DT10t積:片道3km圏内程度)	180.0	m3			
	土工機械運搬費	片道30km以内 バックホウ	1.0	往復			
	1) - 小計						

No.	名 称	規 格・摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2)	舗装工事						
	<アスファルト舗装工(1)>						
	(車道・路肩部) 表層アスファルト舗装	1.4m以上3.0m以下 50mm ⑤ アスファルト混合物 アスファルト乳剤	37.0	m2			
	(車道・路肩部) 上層路盤	1層施工 t100mm 粒調碎石 25mm以下	37.0	m2			
	(車道・路肩部) 下層路盤	5層施工 t810mm 粒調碎石 40mm以下	37.0	m2			
	(車道・路肩部) 不陸整正		37.0	m2			
	<アスファルト舗装工(2)>						
	(駐車場) 表層アスファルト舗装	1.4m以上3.0m以下 50mm ⑤ アスファルト混合物 アスファルト乳剤	51.0	m2			
	(駐車場) 下層路盤	4層施工 t760mm 粒調碎石 40mm以下	51.0	m2			
	(駐車場) 不陸整正		51.0	m2			
	<樹脂モルタル舗装工>						
	(歩道部) 樹脂モルタル舗装	表層:天然豆砂利 t10mm 樹脂モルタル方式	163.0	m2			
	(歩道部) 基層アスファルト舗装(透水性)	開粒度アスコン13 t30mm 人力施工 材工	163.0	m2			
	(歩道部) 下層路盤	1層施工 t200mm 再生クラッシャーラン 40mm以下	163.0	m2			
	(歩道部) フィルター層	t100～120mm 再生クラッシャーラン 40mm以下	163.0	m2			

No.	名 称	規 格・摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	(歩道部) 不陸整正		163.0	m2			
	<平板舗装ブロック>						
	特殊平板ブロック舗装	透水性平板 300×300×60 材工共	58.0	m2			
	(歩道部) 下層路盤	1層施工 t200mm 再生クラッシャーラン 40mm以下	58.0	m2			
	(歩道部) フィルター層	t100～120mm 再生クラッシャーラン 40mm以下	58.0	m2			
	(歩道部) 不陸整正		58.0	m2			
	<視覚障害者用点字ブロック>						
	視覚障害者用平板ブロック	透水性平板 300×300×60 材工共	22.0	m2			
	2) - 小計						

No.	名 称	規 格・摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3)	区画線工事						
	区画線設置	溶融式 実線 15cm	6.0	m			
	区画線設置	溶融式 記号 15cm	13.0	m			
	塗布式カラー舗装工	水性無機質系	23.0	m2			
	3) - 小計						

No.	名 称	規 格・摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4)	排水工事						
	排水構造物工 自由勾配側溝	300x300 (縦断用) 材工共	7.0	m			
	排水構造物工 自由勾配側溝	300x400 (縦断用) 材工共	12.0	m			
	排水構造物工 蓋版据付	グレーチング蓋 (縦断用) 細目 300型 長さ1000mm 荷重T-25 材工共	2.0	枚			
	排水構造物工 蓋版据付	コンクリート蓋 300型 長さ500mm 材工共	16.0	枚			
	基面整正	基礎下 床付	12.0	m2			
	鉄筋コンクリートU字溝	100型 L1000mm	10.0	m			
	U字溝グレーチング	100型 細目 L1000mm	10.0	m			
	4) - 小計						

No.	名 称	規 格・摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5)	路側工事						
	<歩車道境界工>						
	歩車道境界ブロック	A種両面R	13.0	m			
	歩車道境界ブロック	A種片面R	86.0	m			
	基面整正	基礎下 床付	30.0	m2			
	<地先境界工>						
	地先境界ブロック	設置 地先境界ブロック 再生クラッシュラン 40mm以下 生コン 18-8-25(20)-BB 無し	25.0	m			
	基面整正	基礎下 床付	6.0	m2			
	<擁壁工>						
	重力式擁壁	1.0mを超え2.0m未満 生コン 18-8-40-BB	1.0	式			
	<側壁工>						
	基礎コンクリート	Fc-18N/mm2 S-8cm 40BB	1.0	m3			

No.	名 称	規 格・摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	基礎コンクリート打設手間	ポンプ打設	1.0	m3			
	コンクリートポンプ圧送	1回打設50m3以下 基本料金共(重量擁壁共使用)	0.5	回			
	普通合板型枠	一般型枠 鉄筋・無筋構造物	6.0	m2			
	全上型枠運搬費	4t車 基準距離30km以内	6.0	m2			
	碎石地業	基礎下 再生切込碎石	0.3	m3			
	基面整正	基礎下 床付	2.0	m2			
	<フェンス設置工>						
	手すり(指定品)	H850 2段手すり MHR-8.5(ビーム木目調塗装)同等	1.0	式			
	手すり設置工	組立・基礎工事	1.0	式			
	メッシュフェンス(指定品)	H1500 UN-A1500同等	1.0	式			
	フェンス設置工	組立・基礎工事	1.0	式			
	<車止め工>						
	車止め工(1)	固定式(Φ250x530) 表示基板付き	6.0	基			
	車止め工(2)	取外し式(Φ200x450)	7.0	基			

No.	名 称	規 格・摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	別紙-① 重力式擁壁						
	基礎コンクリート	Fc-18N/mm2 S-8cm 40BB	2.6	m3			
	基礎コンクリート打設手間	ポンプ打設	2.6	m3			
	コンクリートポンプ圧送	1回打設50m3以下 基本料金共(側壁共使用)	0.5	回			
	普通合板型枠	一般型枠 鉄筋・無筋構造物	13.2	m2			
	全上型枠運搬費	4t車 基準距離30km以内	13.2	m2			
	碎石地業	基礎下 再生切込碎石	0.7	m3			
	基面整正	基礎下 床付	4.9	m2			
	別紙-① 小計						

No.	名 称	規 格・摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
B	建築工事						
1)	歩道シェルター工事		1.0	式			
2)	駐輪場工事	2150x7500	1.0	式			
3)	ベンチ設置工事		1.0	式			
4)	既存撤去工事		1.0	式			
	B - 計						

No.	名 称	規 格・摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1)	歩道シェルター新設						
	【直接仮設工事】						
	水盛遣り方	平屋建	120.0	m2			
	墨出し	基礎躯体程度	120.0	m2			
	外部くさび緊結式足場(手摺先行型)	W900 H10m未満 存置期間1箇月程度 掛払・損料・運搬・取付・撤去共	181.0	掛m2			
	養生シート張(安全ネット)	メッシュシート 存置期間1箇月程度 掛払・損料・運搬・取付・撤去共	181.0	掛m2			
	【上屋工事】						
	歩道シェルター上屋	(2期工事) アルミハニカムパネル,LEDダウンライト(材工)	1.0	基			
	建方用揚重機械器具費	25t吊[油圧伸縮ジブ型] 排出ガス対策型 オペレーター共	10.0	日			
	【基礎工事 9基分】						
	基礎コンクリート	Fc-24N/mm2 S-8cm 40BB	8.8	m3			
	基礎コンクリート打設手間	ポンプ打設	8.8	m3			
	コンクリートポンプ圧送	1回打設50m3以下 基本料金共	1.0	回			

No.	名 称	規 格・摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	普通合板型枠	一般型枠 鉄筋・無筋構造物	36.0	m2			
	全上型枠運搬費	4t車 基準距離30km以内	36.0	m2			
	均しコンクリート	Fc-18N/mm2 S-8cm 40BB	1.0	m3			
	均しコンクリート打設手間	人力打設	1.0	m3			
	普通合板型枠	均しコン止型枠 鉄筋・無筋構造物	3.0	m2			
	全上型枠運搬費	4t車 基準距離30km以内	3.0	m2			
	異形鉄筋棒鋼	SD295A D16	322.0	kg			
	異形鉄筋棒鋼	SD295A D13	277.0	kg			
	鉄筋スクラップ控除	H2(特級B)程度	▲ 16.0	kg			
	鉄筋加工組立費	結束線・スプーサー・ブロック共	576.0	kg			
	加工鉄筋運搬費	加工場～現場 30km程度 4t車	576.0	kg			
	砕石地業	基礎下 再生切込砕石	2.9	m3			
	基面整正	基礎下 床付	19.4	m2			
	アンカーボルト設置	M16 手間のみ	18.0	本			

No.	名 称	規 格・摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	1) - 計						

No.	名 称	規 格・摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2)	既存駐輪場改修						
	【直接仮設工事】						
	水盛遣り方	平屋建	16.1	m2			
	墨出し	基礎躯体程度	16.1	m2			
	【上屋工事】						
	駐輪場シェルター 上屋	NCF-1S同等品 屋根:角波ガルバリウム鋼板 W7500xD2150	1.0	式			
	駐輪ラック	前輪乗せラック N=13台分	1.0	台			
	駐輪場設置工	組立、据付、運搬等	1.0	式			
	【基礎工事 6基分】						
	基礎コンクリート	Fc-24N/mm2 S-8cm 40BB	2.2	m3			
	基礎コンクリート打設手間	ポンプ打設	2.2	m3			
	普通合板型枠	一般型枠 鉄筋・無筋構造物	10.8	m2			
	全上型枠運搬費	4t車 基準距離30km以内	10.8	m2			

No.	名 称	規 格・摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	均しコンクリート	Fc-18N/mm2 S-8cm 40BB	0.4	m3			
	均しコンクリート打設手間	人力打設	0.4	m3			
	ボ'ト'型枠	200 φ	3.0	m			
	異形鉄筋棒鋼	SD295A D13	44.0	kg			
	鉄筋スクラップ控除	H2(特級B)程度	▲ 1.0	kg			
	鉄筋加工組立費	結束線・スペーサーフ'ロック共	42.0	kg			
	加工鉄筋運搬費	加工場～現場 30km程度 4t車	42.0	kg			
	砕石地業	基礎下 再生切込砕石	1.0	m3			
	基面整正	基礎下 床付	6.7	m2			
	アンカーボルト設置	M16 手間のみ	12.0	本			
	2) - 計						

No.	名 称	規 格・摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3)	ベンチ設置工事						
	ベンチ	固定式 背もたれなし	1.0	台			
	ベンチ設置工	組立、据付、運賃等	1.0	台			
	3) - 計						

No.	名 称	規 格・摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4)	既存撤去工事						
	舗装版破碎解体撤去	集積共 大型ブレーカ・圧砕機併用	16.0	m3			
	構造物コンクリート解体撤去	無筋コンクリート 集積共 大型ブレーカ・圧砕機併用	24.0	m3			
	構造物コンクリート解体撤去	有筋コンクリート 集積共 大型ブレーカ・圧砕機併用	2.0	m3			
	解体廃材積込	アスファルト屑	34.0	t			
	解体廃材積込	コンクリート屑（有筋・無筋）	60.0	t			
	解体廃材運搬	アスファルト屑 DT10t積 片道10km程度	34.0	t			
	解体廃材運搬	コンクリート屑 DT10t積 片道10km程度	60.0	t			
	解体廃材処分	アスファルト屑	34.0	t			
	解体廃材処分	コンクリート屑（有筋・無筋）	60.0	t			
	4) - 計						

No.	名 称	規 格・摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
C	電気設備工事						
	波付硬質ポリエチレン管	FEP 30 地中	39.0	m			
	波付硬質ポリエチレン管付属品	直線接続材H型 30mm	2.0	個			
	厚鋼電線管	G16HDZ	11.0	m			
	金属製可とう電線管(F)	# 17	3.0	m			
	露出ボックス 丸形	G16 二方出	1.0	個			
	露出ボックス 丸形	G16 三方出	2.0	個			
	プルボックス 鋼板製 (SUS、WP)	SS150*150*100	1.0	個			
	屋外管内配線	EM-IE 2.0	36.0	m			
	地中管内配線	EM-CE 5.5sq -2C	36.0	m			
	ケーブル接続材	分岐 92-JB1	1.0	個			
	街路灯 機器費	LED 37W ポール・フラッグアーム共	2.0	基			
	街路灯設置工		2.0	基			
	街路灯基礎	Φ0.5 * L1.0 アンカーボルト共	2	箇所			

No.	名 称	規 格・摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	街路灯ポール運搬費		1.0	回			
	満空表示灯	【再取付】	1.0	基			
	満空表示灯用コンクリート基礎	900*900*600	1.0	基			
	接地工事	ED種	2.0	箇所			
	埋設管路 掘削	機械	11.0	m3			
	埋設管路 埋戻	機械	11.0	m3			
	埋設標識シート敷設	ダブル	27.0	m			
	埋設標設置	鉄製	3.0	個			
	満空表示灯	【取外し】	1.0	基			
	同用コンクリート基礎解体撤去	900*900*600mm	1.0	基			
	現場発生品・支給品運搬	クレーン2t級,2t吊(参考)荷台長3.0m,巾1.6m	3.0	回			
	C - 計						

現 場 説 明 書

安曇野市 総務部 財産管理課 施設経営担当

1. 件名（工事名称）

令和4年度 都市構造再編集集中支援事業明科駅前広場整備工事（2工区）

2. 工事場所： 安曇野市 明科中川手

3. 工事概要： ○歩道部、駐輪場シェルターの新築工事とそれに付随する外構整備工事

- ・歩道シェルター：L≒32m
- ・駐輪場シェルター：W=8.1m×D2.2m 1棟
- ・メッシュフェンス工事：H=1.5m L=14.2m
- ・歩車道整備工事等

4. 工 期 ： 契約日～令和5年3月28日

5. 一般事項について

(1)現場説明会

本件の内容は、現場、入札心得、入札公告、特記仕様書、設計図書、安曇野市建築工事の手引等関連する仕様書類、長野県建設工事標準請負契約約款に基づき市が定める契約書（案）及び現場説明書（以下「設計図書等」という。）によるものとし、現場説明会は実施しない。

(2)設計図書等に対する質問及び回答について

設計図書等に関する問い合わせは、「入札公告」記載のとおりとし、入札執行が完了するまでの間、本件に関しての面談又は電話（ただし、指定の問い合わせ先は除く。）等は一切認めない。

(3)工事費内訳書の提出

入札時の工事費内訳書提出については「入札公告」による。

(4)工事費内訳書記載数量は参考数量とする。

6. 本工事における特記事項

(1) 工事用地等

本工事に必要な用地は、以下のとおり。

使用目的	使用場所・面積
資材置場	龍門渚公園、敷地内
駐車場	同上
現場事務所	龍門渚公園内

※現在、工事予定敷地内は狭いため、現場事務所等の設置は龍門渚公園内で考えています。

(2) 地域住民及び駅前利用者の安全に対して、十分配慮すること。

(3) 工事車両等の通行は安全に十分配慮すること。

(4) 工事着手前の通知や説明会等の計画がある場合は協力すること。

- (5) 近接工事（R 4 駅前広場 3 工区工事・R 4 駅前広場 1 工区工事・JR 駅舎改築工事ほか）があるため、随時工程調整を行うこと。
- (6) J R 東日本（東日本旅客鉄道株式会社）近接工事となる。J R 側と仮設や重機作業の協議が必要な場合は、対応すること。
- (7) 工事着手前に事前のお知らせをおこなうこと。また看板等を設置して、工事内容の周知を行うこと。
- (8) 新型コロナウイルス感染症対策は十分に講じること。
- (9) 残土関係

- ・本工の施工において生じる発生土の処分については、下記の処分先を想定して処分費、運搬費を計上している。

なお、受注者の都合による処分先の変更については、原則として設計変更しない。

- ・建設発生土

受入れ場所・仮置き場所	処分方法	運搬距離	特記事項
明科建材（株）	指定	3 Km	

距離指定の場合、残土運搬距離は設計変更の対象とする。

7. 安全対策関係

① 交通誘導警備員

受注者が交通誘導業務を他人に委託する場合は、受託者は警備業法第4条の規定により公安委員会から警備業の認定を受けた者であること。

② 安全施設

発注者が想定している仮設（ゲート、仮囲い等）については、仮設計画図に示したとおり。受注者は明示された条件に基づき、自主的に工法を選定し、構造設計等必要な検討を行い施工するものとする。（任意仮設）

なお、明示した条件と現場が一致しない場合や明示されていない条件について予期することができない特別な状態が生じた場合において、必要と認められるときは設計変更の対象とする。

8. 工事用道路関係

現場への工事関係車両の入退場の路線は事前に監督員と協議をすること。

9. その他

火災保険等への加入について

火災保険等加入期間については、請負契約後から契約工期末日後14日までとする。

高度技術・創意工夫・社会性に関する実施状況の提出について

請負者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は、地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、施工に先立ち所定の様式により提出することができる。

高度技術・創意工夫・社会性等の具体的内容がある場合は、下記の「別添様式」及び、「説明資料」を提出すること。なお、用紙サイズはA4版とする。

特記仕様書（共通事項）

総務部 財産管理課

1. 保険等

建物（施設）引渡しまで工事受注者は、現場説明事項・施工条件明示事項に定める保険に加入しなければならない。加入期間は原則として工事着手日とし、その終期は工事しゅん工後14日以降とする。

2. 各種調査等に対する協力について

本工事について、発注者が自ら又は、発注者が指定する第三者が行う下記調査等に対して、協力しなければならない。

(1) 公共事業労務費調査等

(2) 資材調査、建設副産物実態調査等

3. 工事検査

施工途中において総務部契約検査課職員または、発注機関の長の指定する職員による抜打ち検査を実施することがあるので、検査に協力すること。

4. 被害届等

暴力団関係者から工事妨害による被害を受けた場合は、被害届を速やかに警察に提出すること。

5. 工事实績情報サービス（CORINS）の登録について

(1) 請負金額が500万円以上（税込）の工事については、工事实績情報サービス（CORINS）の登録をすること。

(2) 登録する場合は、「登録のために確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受け、次に示す期間内に（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）に登録の手続きを行うこと。また、登録機関発行の「登録内容確認書」が届いた場合は、速やかに監督員に提示すること。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

① 工事受注時契約締結後10日以内

② 登録内容の変更時変更契約締結後10日以内

③ 工事完成時工事完成後10日以内

6. 施工体制台帳に係る書類について

(1) 工事受注者は、請負契約した全ての下請業者について、建設業法に定める「施工体制台帳」とそれに係る書類及び「施工体系図」を作成し、工事期間中工事現場に備え付けるとともに、その写しを監督員に提出すること。

(2) 「施工体系図」は工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示を行うこと。

(3) 次の業種についても請負契約に該当するため、(1)と同様とする。

・ 1日で完了する請負契約、少額な作業・雑工の請負契約

・ クレーン作業、コンクリートポンプ打設等の日々の単価契約で行っている場合

・ クレーン等の業種オペレーターを機械と一緒にリース会社から借上げる場合

7. 主任技術者及び監理技術者の専任について

主任技術者又は監理技術者（以下「監理技術者等」という。）が専任を求められる工事である場合、監理技術者等を専任で設置すべき期間は契約工期が基本となるが、次の期間については、専任を要しない。なお、具体的な期間については、監督員との打合せにおいて定めることとする。

- ① 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入、または仮設工事等が開始されるまでの期間）
- ② 自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間
- ③ エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間
- ④ 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間

8. 産業廃棄物等の取扱い

- (1) 廃棄物の処理に当たっては、受注者が自ら処理（分別、保管、収集、運搬及び処分の一連の行為）をするときは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という。）に基づき、適正に行うこと。
- (2) 廃棄物の処理の全部又は一部を委託する場合は、廃棄物処理法に基づく処理を業として許可を取得している者に委託すること。また、施工前に産業廃棄物処理委託契約書の写し、産業廃棄物処理業の許可証の写し、許可運搬車両一覧並びに処分地の案内図等をまとめた「廃棄物処理計画書」を監督員に提出すること。
- (3) しゅん工した時は、廃棄物ごとに処理数量を集計し、積み込み状況の写真、処分状況の写真を添付した「廃棄物等処理報告書」を監督員に提出するとともに、マニフェストA票、B2票、D票並びにE票の原本（廃棄物の種類ごとに1セット）を提示すること。

9. 再生資源利用促進計画書等

「資源の有効な利用の促進に関する法律」（ラージリサイクル法）に基づき、受注者は、工事の着手前に「再生資源利用促進計画書」及び「再生資源利用計画書」を作成すること。

また、しゅん工後に「再生資源利用促進実施書」及び「再生資源利用実施書」を作成し、監督員に提出すること。

対象工事：ラージリサイクル法に規定する一定規模以上の工事

作成方法：COBRIS（建設副産物情報交換システム※）を利用すること。

※（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）が提供する建設副産物の情報交換サービス

10. 安全対策関係

- (1) 工事現場においては、労働災害、公衆災害防止に努めるとともに、全作業員を対象に定期的に安全教育、研修及び訓練を行うこと。
- (2) 安全教育、研修及び訓練については、工事期間中に月一回以上実施し、この結果は工事日誌へ記録するほか工事写真等も整理のうえ提出すること。なお、これにより難しい場合は、監督員と協議するものとする。
- (3) 足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について（厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きや

すい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

11. 環境対策関係

- (1)現場で使用する機械は、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型建設機械とすること。
- (2)夜間、早朝等の稼動を避けること。ただし、監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。なお、運搬ルートを選定に当たっては影響の少ないルートを選定すること。
- (3)汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元等環境の回復に努めること。
- (4)熱帯材合板型枠は、極力使用しないこと。

12. 過積載の禁止

(1)工事の施工計画にあたって、施工計画書に次の事項を具体的に記載するとともに、施工時においても遵守すること。

- ①積載重量制限を超過しての建設発生土の処理及び資機材（以下「資機材等」という。）の積載重量の厳重チェックを行うこと。
- ②過積載を行っている資材等納入業者からの資機材等購入は行わないこと。
- ③過積載を防止するため、資機材等の購入にあたっては、納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- ④資機材等の運搬には、さし枠装着車、物品積載装置等の不正改造した車輛及び不表示車等を使用しないこと。また、同車輛からの資機材等の引き渡しを受けないこと。
- ⑤下請業者や資機材等納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けた者または車輛を使用した業務等において悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。
- ⑥飛散の恐れがあるものについては、飛散しないような処置を行い運搬すること。
- ⑦土砂等の運搬に関する事業者の選定に当たっては、「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」の目的に鑑み、同法第12条の規定に基づき届け出た団体構成員の雇用に努めること。

(2)以上の点について、下請業者についてもこれに準じ徹底すること。

13. セメント及びセメント系固化材を使用した改良土について

- (1)セメント及びセメント系固化材を使用した地盤改良及び改良土を再利用する場合は、六価クロム溶出試験を行い、その結果について監督員に報告する。
- (2)セメント及びセメント系固化材とは、セメントを含有成分とする固化材で、普通ポルトランドセメント、高炉セメント、セメント系固化材、石灰系固化材をいい、これに添加物を加えたものを含める。
- (3)六価クロム溶出試験は「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」（以下「実施要領（案）」という。）により実施し、土壤環境基準を超えないことを確認する。

~~14. アスベスト建材使用箇所等の事前調査~~

- ~~(1) 石綿等による健康障害を防止するため、とりこわし、改修工事の解体及び撤去等作業前、~~

~~図面・施工範囲目視、その他適切な方法によるアスベスト含有材料の有無について調査を行い、報告書を監督員に提出する。アスベスト含有材料が無かった場合においても書面にて報告を行う。~~

~~報告書の記載内容~~

~~① アスベスト材料の種別~~

~~② アスベスト形状、飛散可能性の有無~~

~~③ 製造所・製品名称、製造所の公表するアスベスト含有率~~

~~なお、上記調査において、アスベスト分析調査が必要な場合は別途監督職員と協議を行う。~~

~~(2) 監督員の指示による「石綿（アスベスト）の事前調査結果」、「建築物等の解体・改修等作業に関するお知らせ」について、公衆の見やすい場所に掲示を行う。~~

15. 建設業退職金制度について

- (1) 工事受注者は、自ら雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に共済証紙を貼付すること。
- (2) 工事受注者が下請契約を締結する際は、下請業者に対して、建退共制度の趣旨を説明し下請業者が雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙をあわせて購入し現物により交付すること、または建退共制度の掛金相当額を下請代金中に算入することにより、下請業者の建退共制度への加入並びに共済証紙の購入及び貼付を促進すべきこと。
- (3) 請負代金の額が800万円以上の建設工事の請負契約を締結した時は、工事受注者は建退共制度の発注者用掛金収納書（以下「収納書」という。）を工事締結後1ヶ月以内に発注者に提出すること。なお、工事契約締結当初は工場製作の段階であるため建退共制度の対象労働者を雇用しないこと等の理由により、期限内に当該工事に係る収納書を提出できない事情がある場合又は、建退共対象労働者を使用しない場合においては、あらかじめその理由を書面により申し出ること。

16. 資材の市内産優先使用及び市内企業の優先採用

- (1) 工事受注者は、本工事に使用する材料については、規格・品質等の条件を満足するものについては、市内産資材を優先使用するよう努めること。
- (2) 工事受注者は、工事用資材の調達に当たっては、極力市内の取扱い業者から購入すること。
- (3) 下請契約を締結する際には、市内企業の採用に努めること。

17. 再資源化及び再生資源等使用状況

工事受注者は、しゅん工時にコンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木くずの再資源化の状況、再生資源（再生クラッシャーラン、再生アスファルト・コンクリート、再生土砂）及び信州リサイクル製品の使用状況について、監督員へ報告すること。

18. レディーミクストコンクリート製造工場の選定について

受注者は、I類コンクリートの製造工場を、JISマーク表示認証工場（改正工業標準化法（平成16年6月9日公布）に基づき国に登録された民間の第三者機関（登録認証機関）により認証を受けた工場）で、かつ、コンクリート製造に係る指導及び品質管理を行う施工管理技術者（コ

ンクリート主任技士等）が置かれ、良好な品質管理が行われている工場（全国品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場等）から選定する。

ただし、これにより難い場合は、監督員と協議する。

19. 工事進捗状況報告書

監督員の指示により、毎月の工事の進捗状況を報告書にまとめて提出する。

添付書類

- ・工事記録（工事の経過に伴う主な工事内容等の事項を記載した月報）
- ・工事打合わせ記録簿（当月分）
- ・工事写真（工事の進捗状況がわかるものを数枚）

20. 施工図等の取扱い

施工図等の著作権に関わる当該建物に限る使用权は、発注者に移譲する。

21. 設計図CADデータについて

本工事の設計図CADデータを貸与する。貸与したCADデータは、本工事の履行に必要な施工図の作成及び完成図の作成においてのみ使用することとし、それ以外の目的で使用してはならない。

22. 完成写真の著作権の権利等について

工事受注者は、完成写真の撮影者との契約にあたって、以下の事項を条件とすること。

- ① 完成写真は、市が行う事務並びに市及び市が認めた公的機関の広報に、無償で使用する
ことができる。この場合において、著作者名を表示しないことができる。
- ② 以下に掲げる行為をしてはならない。ただし、あらかじめ発注者の承諾を得た場合は、
この限りではない。
 - イ. 完成写真を公表すること。
 - ロ. 完成写真を他人に閲覧させ、複写させ、又は譲渡すること。

23. 高度技術・創意工夫・社会性に関する実施状況の提出について

受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は、地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、施工に先立ち所定の様式により提出することができる。

高度技術・創意工夫・社会性等の具体的内容がある場合は、「別添様式」及び、「説明資料」を提出すること。なお、用紙サイズはA4版とする。

駅前広場 施設構成一覧

施設	摘要
駐車場	一般車(コインパーキング)、身障者用
駐輪場	N-2箇所(既存利用、新設1箇所)
乗降場	一般車、身障者用、タクシー、路線バス
待機所	タクシー、バス
歩道部シールド	駅舎前からバス乗降場まで
路線バス等待合所	N-1棟(既存待合所付近に新設、既存は存置)
公衆トイレ	N-1棟(駅舎横に新設) ※別業務にて設計済
その他施設	時計 N-1棟、東屋 N-1棟、水飲み場 N-1基、仮設電源 N-1基、観光案内板
明科交番	出入口の位置変更、駐車まち配置変更

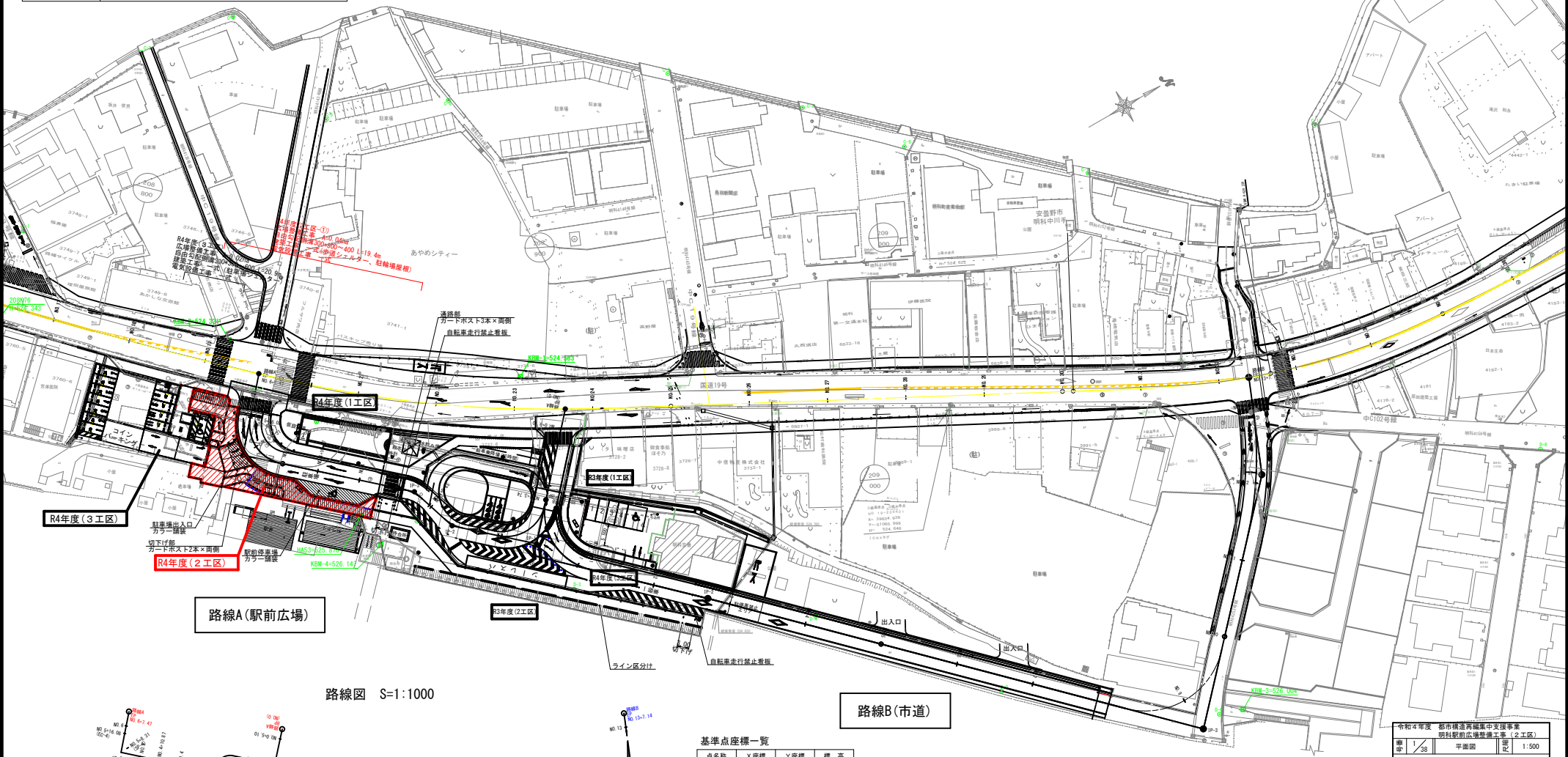
設計諸元表					
構造規格	3種4級(平地部)	交通量	観測 457 台/24h	計画	- 台/24h
幅員	駅前広場 6.0m(0.50+3.00+3.00+0.50) 市道 7.50m(1.00+2.75+2.75+1.00)	工種	縦断勾配	全幅	市道 5.5m~6.5m
設計速度	20 km/h	現況	縦断勾配	路面	アスファルト舗装
最小曲線半径	m				
勾配	横断 % 縦断 %				
地質	不明				

平面図

S=1:500

安曇野市明科中川手
(明科駅前広場)

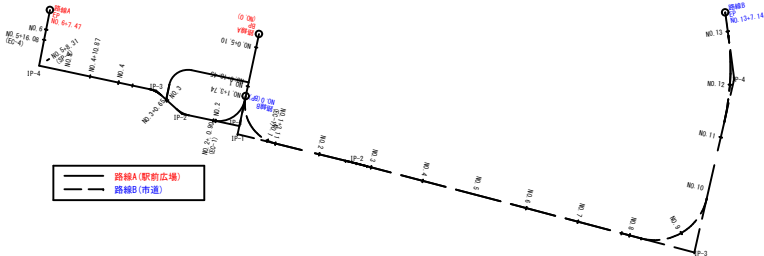
R4年度(2工区)



路線A(駅前広場)

路線B(市道)

路線図 S=1:1000



基準点座標一覧

点名称	X座標	Y座標	標高
208K76	39434.599	-51205.709	524.343
M445	39482.223	-51157.201	
D-1	39482.560	-51142.913	
D-2	39502.048	-51108.100	
D-3	39528.128	-51073.024	
D-4	39578.084	-51036.225	
D-5	39609.558	-50995.948	
D-6	39654.753	-50963.040	
D-7	39700.366	-51025.787	
D-8	39759.528	-50980.712	

その他座標一覧

点名称	X座標	Y座標	標高
K2M-4	39491.161	-51107.681	526.147
M453	39490.290	-51116.549	525.976

注1) 路線区分については以下の通り。
駅前広場(路線A): NO. 0~NO. 6+7.47 (EP)
市道(路線B): NO. 0~NO. 13+7.14 (EP)
尚、路線B NO. 0=路線A NO. 1+3.74とする。

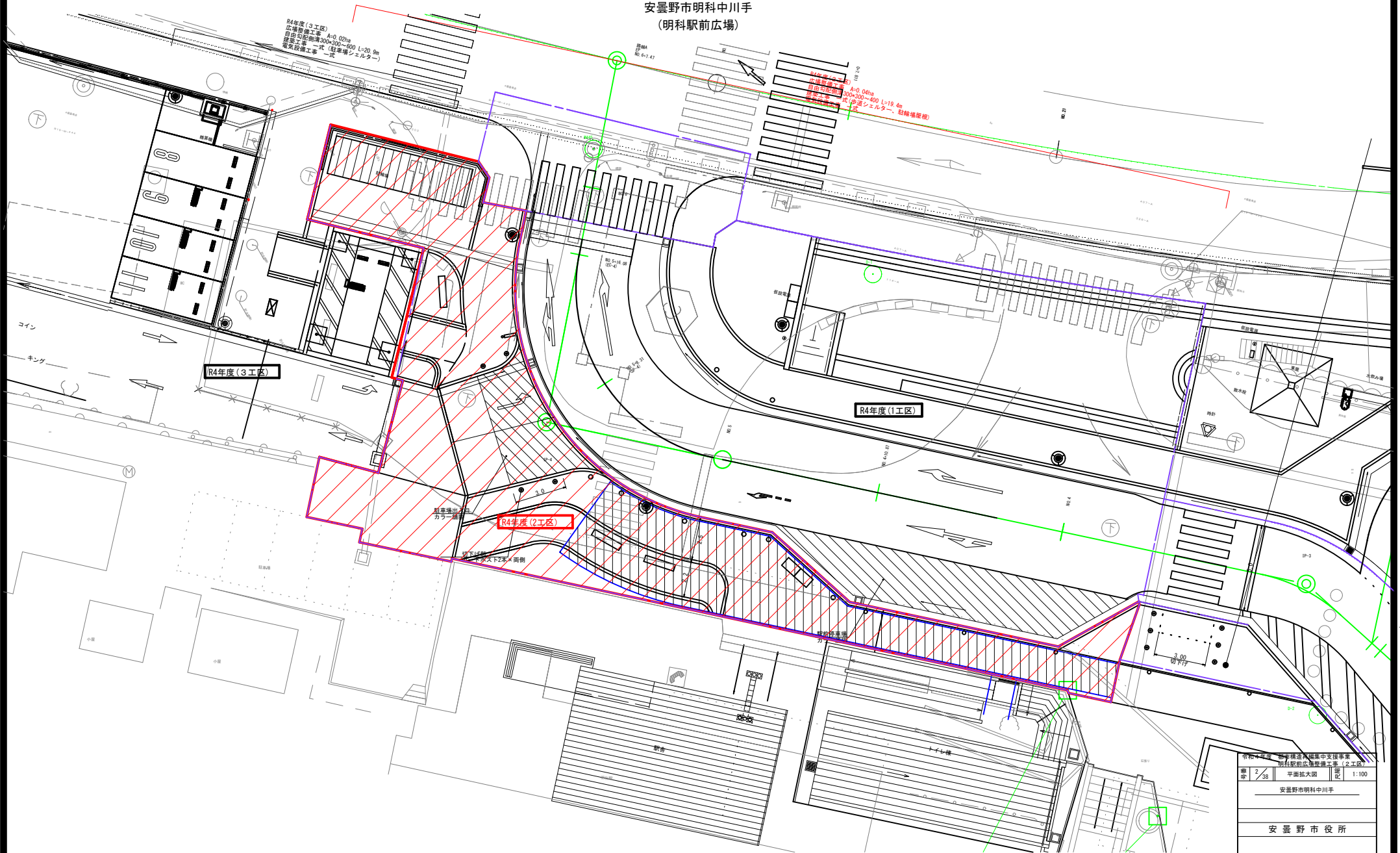
注2) 工区区分については以下の通り。
R4年度(1工区): 路線A NO. 3+14.66~NO. 6+4.04

令和4年度 都市計画局管内中川手駅前広場整備工事(2工区)			
図 1/38	平面図	縮尺	1:500
安曇野市明科中川手			
安曇野市役所			

S=1 : 100

R4年度(2工区)

安曇野市明科中川手
(明科駅前広場)



令和4年度 都市計画決定区域中支援事業 明科駅前広場整備工事（2工区）				
縮小 率	2/38	平面拡大図	縮尺	1:100
安曇野市明科中川手				
安曇野市役所				

SV=1 : 100
SH=1 : 250

R4年度(2工区)

注1) 路線区分については以下の通り。

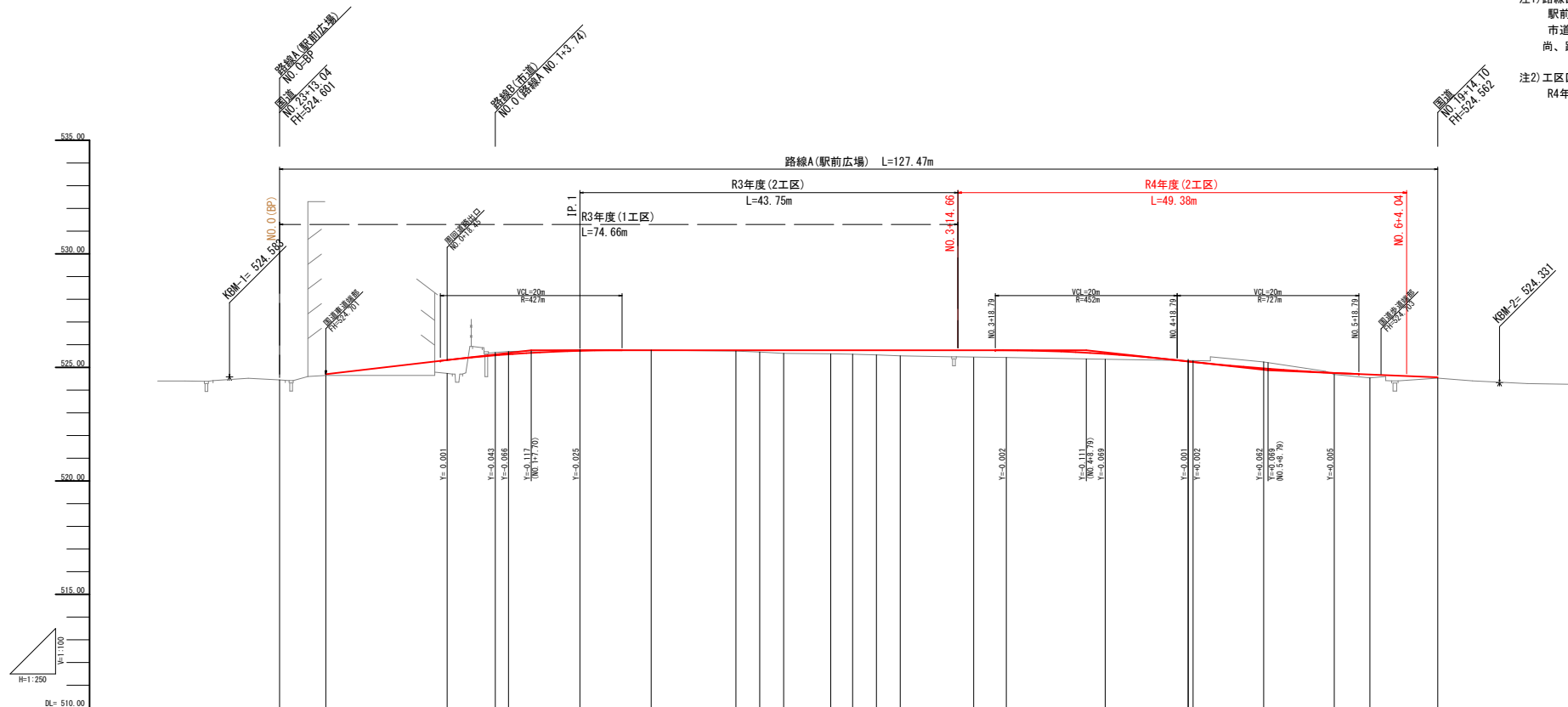
駅前広場(路線A) : NO. 0~NO. 6+7.47 (EP)

市道 (路線B) : NO. 0~NO. 13+7. 14 (EP)

尚、路線B NO.0=路線A NO.1+3.74とする。

注2) 工区区分については以下の通り。

R4年度(1工区): 路線A NO. 3+14.66~NO. 6+4.04

[illegible]

路線A(駅前広場)

令和4年度 都市構造再編集中支援事業
昭和三十九年度 昭和三十九年度 昭和三十九年度

明科駅前広場整備工事（2工区）				
座	3	／		

比例	3/38	被断圆(1)	尺规	图示
----	------	--------	----	----

安曇野市明科中川手

又蓋對市明科平川子

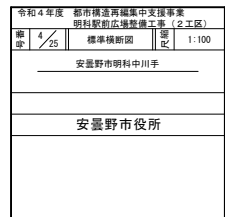
安曇野市役所

	人 國 野 中 民 所

1 _____

S=1:100

DL=523.000

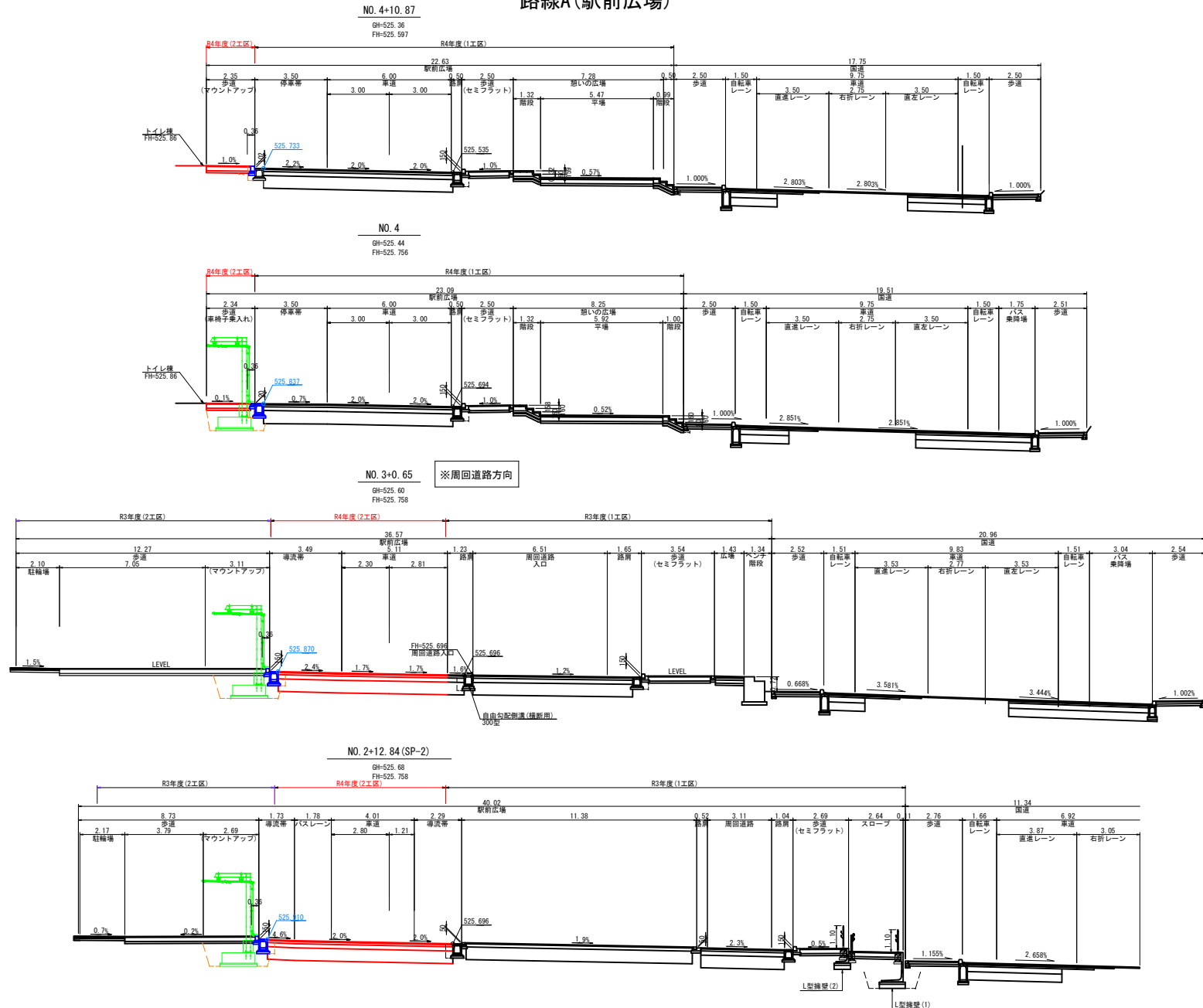


横断図 (2/8)

S=1:100

R4年度(2工区)

路線A(駅前広場)

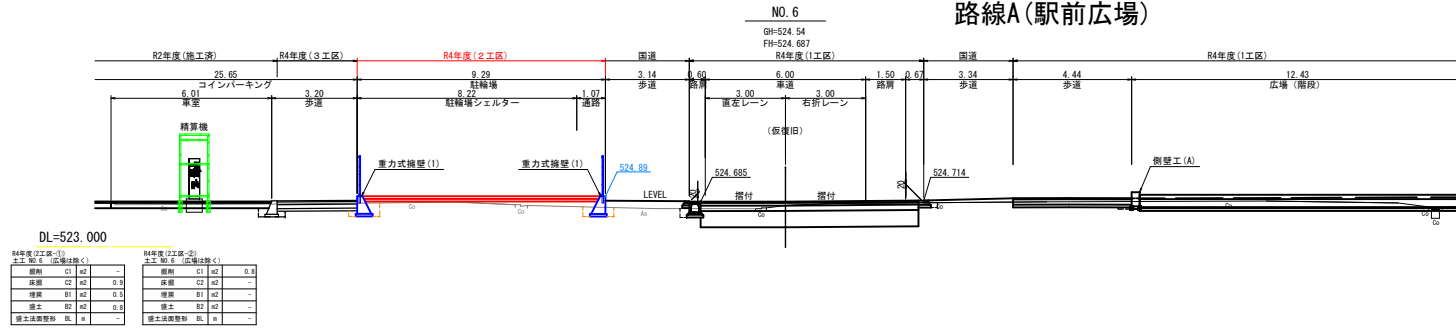


路線A(駅前広場)			
令和4年度	都市構造再編集中支援事業	明料駅前広場整備工事(2工区)	
欄	5	横断図(2/8)	図
尺	25		1:100
安曇野市明料中川手			
安曇野市役所			

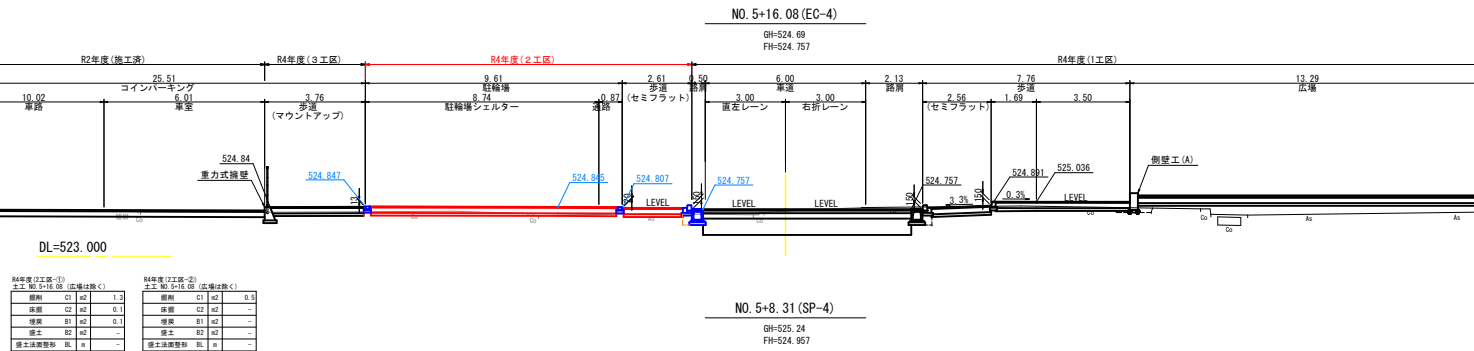
横断図 (3/8)

S=1:100

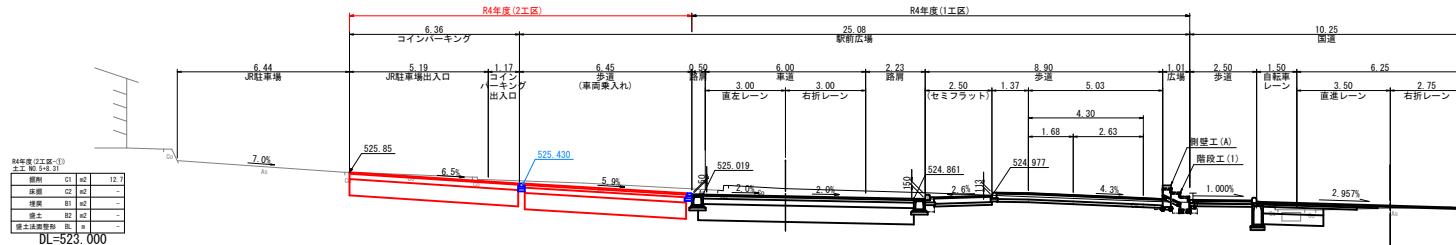
R4年度(2工区)



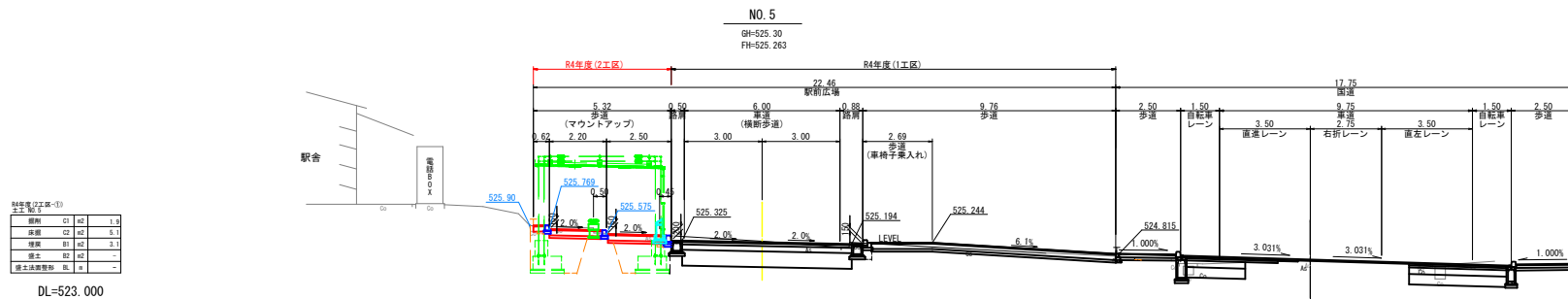
土工部 6 (広場付部)			
層別	C1	a2	0.3
厚層	C2	a2	0.3
埋戻	B1	a2	0.3
埋戻	B2	a2	0.3
埋戻法面形状	法	法	-



土工部 5+16.08 (広場付部)			
層別	C1	a2	0.3
厚層	C2	a2	0.3
埋戻	B1	a2	0.3
埋戻	B2	a2	0.3
埋戻法面形状	法	法	-



土工部 5+8.31			
層別	C1	a2	12.7
厚層	C2	a2	0.3
埋戻	B1	a2	0.3
埋戻	B2	a2	0.3
埋戻法面形状	法	法	-



土工部 5			
層別	C1	a2	8.2
厚層	C2	a2	0.3
埋戻	B1	a2	0.3
埋戻	B2	a2	0.3
埋戻法面形状	法	法	-

路線A(駅前広場)

令和4年度 都市計画再編集中支援事業
明料駅前広場整備工事(2工区)

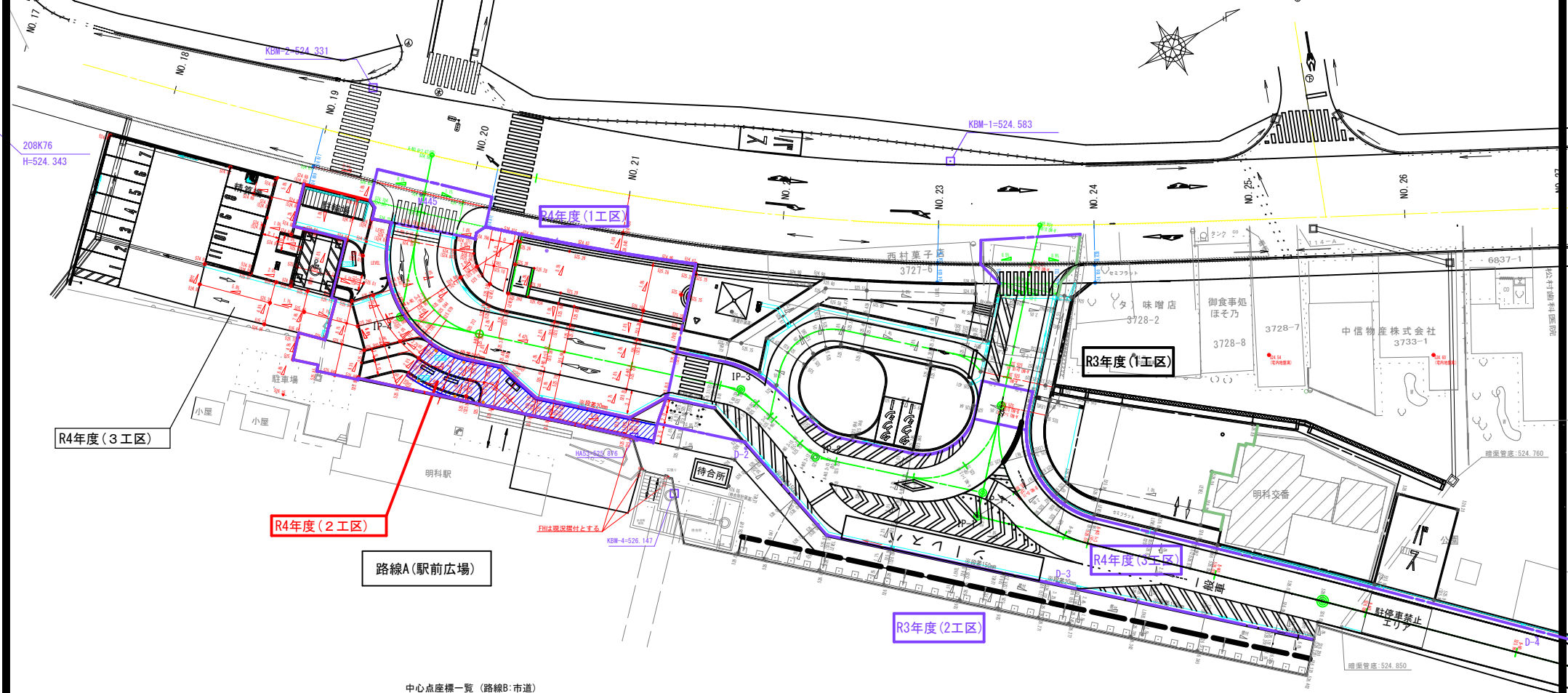
横断図(3/8) 図 1:100

安曇野市明科中川手

安曇野市役所

線形図(1) S=1:250
(計画高・主要点座標)

R4年度(2工区)



基準点座標一覧

点名称	X座標	Y座標	標高
208K76	39434.599	-51205.709	524.343
M445	39482.223	-51157.201	
D-1	39492.580	-51142.913	
D-2	39502.049	-51108.100	
D-3	39528.128	-51073.024	
D-4	39578.084	-51036.225	
D-5	39609.558	-50995.948	
D-6	39654.753	-50963.040	
D-7	39700.366	-51025.787	
D-8	39759.528	-50980.712	

その他座標一覧

点名称	X座標	Y座標	標高
KBM-4	39491.161	-51107.681	526.147
HA53	39490.290	-51116.549	525.876

中心点座標一覧(路線A:駅前広場)

測点	X座標	Y座標
NO. 0+0.000	BP	39549.165 -51114.029
NO. 0+5.100		39545.747 -51110.244
NO. 0+18.450		39536.800 -51100.335
NO. 1+0.000		39535.762 -51099.185
NO. 1+3.742		39533.254 -51096.407
NO. 1+5.199	BC1	39532.278 -51095.326
NO. 1+13.048	SP1	39525.370 -51092.041
NO. 2+0.000		39518.854 -51094.029
NO. 2+0.997	EC1	39518.162 -51094.599
NO. 2+10.215	BC2	39511.239 -51100.836
NO. 2+12.840	SP2	39509.541 -51102.828
NO. 2+15.465	EC2	39508.417 -51105.192
NO. 3+0.000		39507.023 -51109.507
NO. 3+0.650		39506.824 -51110.126
NO. 3+3.060	BC3	39506.083 -51112.419
NO. 3+5.685	SP3	39504.959 -51114.783
NO. 3+8.309	EC3	39503.261 -51116.775
NO. 4+0.000		39494.576 -51124.600
NO. 4+10.870		39486.501 -51131.876
NO. 5+0.000		39479.718 -51137.988
NO. 5+0.547	BC4	39479.312 -51138.354
NO. 5+8.313	SP4	39476.025 -51145.175
NO. 5+16.079	EC4	39478.461 -51152.345
NO. 6+0.000		39481.034 -51155.394
NO. 6+7.471	EP	39485.936 -51160.941

中心点座標一覧(路線B:市道)

測点	X座標	Y座標
NO. 0+0.000	BC1	39533.254 -51096.407
NO. 0+11.555	SP1	39529.397 -51085.818
NO. 1+0.000		39531.997 -51077.900
NO. 1+3.108	EC1	39534.001 -51075.532
NO. 2+0.000		39546.189 -51063.836
NO. 2+10.184	BC2	39553.543 -51056.778
NO. 2+14.274	SP2	39556.477 -51053.939
NO. 2+18.364	EC2	39559.388 -51051.076
NO. 3+0.000		39560.554 -51049.921
NO. 4+0.000		39574.756 -51035.838
NO. 5+0.000		39588.958 -51021.757
NO. 6+0.000		39603.160 -51007.675
NO. 7+0.000		39617.362 -50993.593
NO. 8+0.000		39631.564 -50979.511
NO. 8+4.406	BC3	39634.695 -50976.408
NO. 9+0.000		39648.748 -50970.611
NO. 9+0.432	SP3	39649.179 -50970.615
NO. 9+16.457	EC3	39663.419 -50976.987
NO. 10+0.000		39665.832 -50979.581
NO. 11+0.000		39679.456 -50994.223
NO. 11+6.038	SP4	39683.569 -50998.643
NO. 12+0.000		39692.250 -51009.560
NO. 12+2.222	BC4	39693.472 -51011.417
NO. 12+18.407	EC4	39700.830 -51025.756
NO. 13+0.000		39701.535 -51027.229
NO. 13+7.136	EP	39704.246 -51033.830

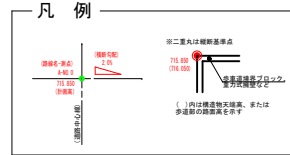
路線A:駅前広場

IP	IP-1	IP-2	IP-3	IP-4
IA	89-56-24	30-04-48	30-04-45	88-59-27
R	10.000	10.000	10.000	10.000
A				
TL	35.188	21.985	12.989	44.749
SL	9.990	2.687	9.825	9.825
CL	4.135	0.355	0.355	4.019
X	15.698	5.250	5.250	15.532
Y	39525.583	39509.243	39505.257	39472.013
	-51087.912	-51102.635	-51114.976	-51144.931

路線B:市道

IP	IP-1	IP-2	IP-3	IP-4
IA	88-15-39	0-56-09	91-49-11	20-36-24
R	15.000	500.000	20.000	90.000
A				
TL	14.551	45.719	130.777	66.587
SL	14.551	4.083	20.645	16.361
CL	5.898	0.017	8.744	1.475
XL	23.107	8.166	32.051	32.369
X	39623.502	39656.489	39649.355	39694.774
Y	-51085.607	-51053.951	-50961.872	-51010.621

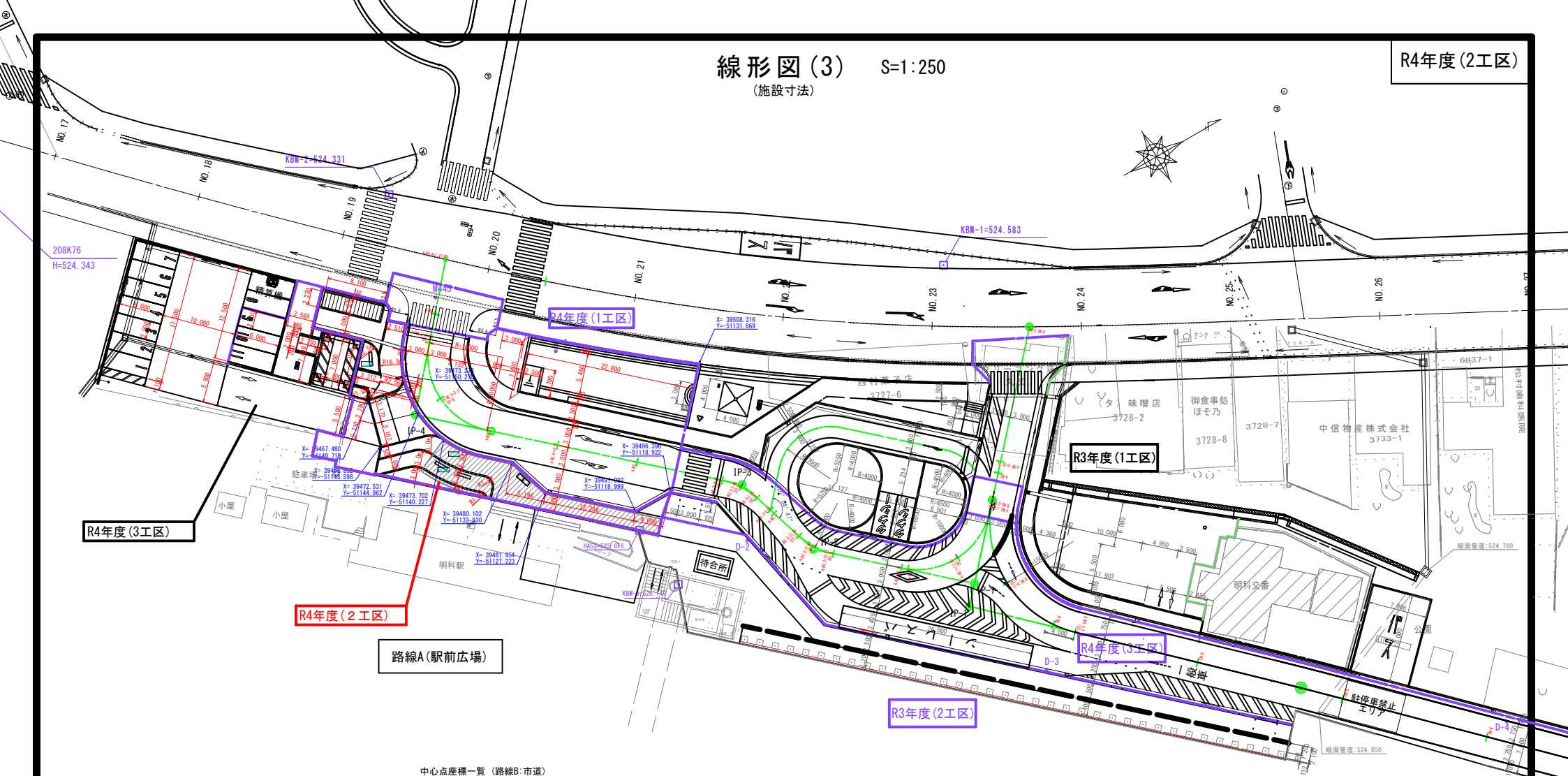
路線B(市道)



令和4年度 都市計画局管内中川手
明科駅前広場整備工事(2工区)
線形図(1) 1:250
安曇野市明科中川手
安曇野市役所

線形図(3) S=1:250
(施設寸法)

R4年度(2工区)



基準点座標一覧

点名	X座標	Y座標	標高
208K76	39434.599	-51205.709	524.343
M445	39482.223	-51157.201	
D-1	39492.580	-51142.913	
D-2	39502.049	-51108.100	
D-3	39528.128	-51073.024	
D-4	39578.084	-51036.225	
D-5	39609.558	-50995.948	
D-6	39654.753	-50963.040	
D-7	39700.366	-51025.787	
D-8	39759.528	-50980.712	

その他座標一覧

点名	X座標	Y座標	標高
KBM-4	39491.161	-51107.691	526.147
HA53	39490.290	-51116.549	525.876

中心点座標一覧(路線A:駅前広場)

測点	X座標	Y座標
NO.0+0.000 BP	39549.165	-51114.029
NO.0+5.100	39545.747	-51110.244
NO.0+18.450	39536.800	-51100.335
NO.1+0.000	39535.762	-51099.185
NO.1+3.742	39533.254	-51096.407
NO.1+5.199 BC1	39532.278	-51095.326
NO.1+13.048 SP1	39525.370	-51092.041
NO.2+0.000	39518.854	-51094.029
NO.2+0.997 EC1	39518.162	-51094.599
NO.2+10.215 BC2	39511.239	-51100.836
NO.2+12.840 SP2	39509.541	-51102.828
NO.2+15.465 EC2	39508.417	-51105.192
NO.3+0.000	39507.023	-51109.507
NO.3+0.650	39506.824	-51110.126
NO.3+3.060 BC3	39506.083	-51112.419
NO.3+5.685 SP3	39504.959	-51114.783
NO.3+8.309 EC3	39503.261	-51116.775
NO.4+0.000	39494.576	-51124.600
NO.4+10.870	39486.501	-51131.876
NO.5+0.000	39479.718	-51137.988
NO.5+0.547 BC4	39479.312	-51138.354
NO.5+8.313 SP4	39476.025	-51145.175
NO.5+16.079 EC4	39478.461	-51152.345
NO.6+0.000	39481.034	-51155.394
NO.6+7.471 EP	39485.936	-51160.941

中心点座標一覧(路線B:市道)

測点	X座標	Y座標
NO.0+0.000 BC1	39533.254	-51096.407
NO.0+11.555 SP1	39529.397	-51085.818
NO.1+0.000	39531.997	-51077.900
NO.1+3.108 EC1	39534.001	-51075.532
NO.2+0.000	39546.189	-51063.836
NO.2+10.184 BC2	39553.543	-51056.778
NO.2+14.274 SP2	39556.477	-51053.939
NO.2+18.364 EC2	39559.388	-51051.076
NO.3+0.000	39560.554	-51049.921
NO.4+0.000	39574.756	-51035.838
NO.5+0.000	39588.958	-51021.757
NO.6+0.000	39603.160	-51007.675
NO.7+0.000	39617.362	-50993.593
NO.8+0.000	39631.564	-50979.511
NO.8+4.406 BC3	39634.695	-50976.408
NO.9+0.000	39648.748	-50970.611
NO.9+0.432 SP3	39649.179	-50970.615
NO.9+16.457 EC3	39663.419	-50976.987
NO.10+0.000	39665.832	-50979.581
NO.11+0.000	39679.456	-50994.223
NO.11+6.038 BC4	39683.569	-50998.643
NO.12+0.000	39692.250	-51009.560
NO.12+2.222 SP4	39693.472	-51011.417
NO.12+18.407 EC4	39700.830	-51025.756
NO.13+0.000	39701.535	-51027.729
NO.13+7.136 EP	39704.246	-51033.830

路線A:駅前広場

IP	IP-1	IP-2	IP-3	IP-4
IA	89-56-24	30-04-48	30-04-45	88-59-27
R	10.000	10.000	10.000	10.000
A				
TL	35.188	21.985	12.989	44.749
SL	9.990	2.687	0.355	9.825
CL	4.135	0.355	0.355	4.019
X	15.698	5.250	5.250	15.532
Y	39525.583	39509.243	39505.257	39472.013
	-51087.912	-51102.635	-51114.976	-51144.931

路線B:市道

IP	IP-1	IP-2	IP-3	IP-4
IA	88-15-39	0-56-09	91-49-11	20-36-24
R	15.000	500.000	20.000	90.000
A				
L	14.551	45.719	130.777	66.587
TL	14.551	4.083	20.645	16.361
SL	5.898	0.017	8.744	1.475
CL	23.107	8.166	32.051	32.369
X	39523.502	39556.489	39649.355	39694.714
Y	-51085.607	-51053.951	-50961.872	-51010.621

路線B(市道)

令和4年度 都市計画局管内集中整備事業
明科駅前広場整備工事(2工区)
線形図(3) 図尺 1:250
安曇野市明科中川手
安曇野市役所

舗装工詳細図(1) S=1:500

(アスファルト舗装・コンクリート舗装・樹脂モルタル舗装・平板ブロック舗装)

安曇野市明科中川手
(明科駅前広場)

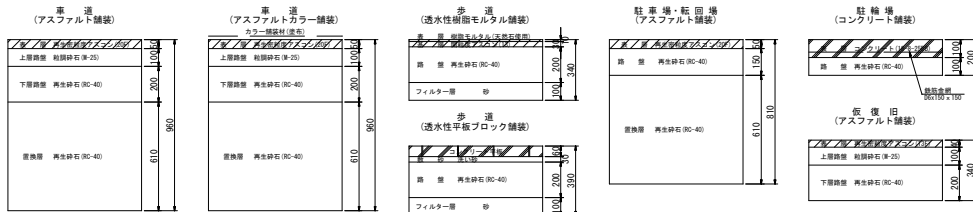
R4年度(2工区)

凡 例

舗装構成の分類

車道(アスファルト舗装)	
車道(アスファルトカラー舗装)	
歩道(透水性樹脂モルタル舗装)	
歩道(透水性平板ブロック舗装)	
駐車場他(アスファルト舗装)	
駐車場(コンクリート舗装)	
仮復旧(アスファルト舗装)	
張芝(緑地帯)	

舗装構成概要図



舗装工 数量表

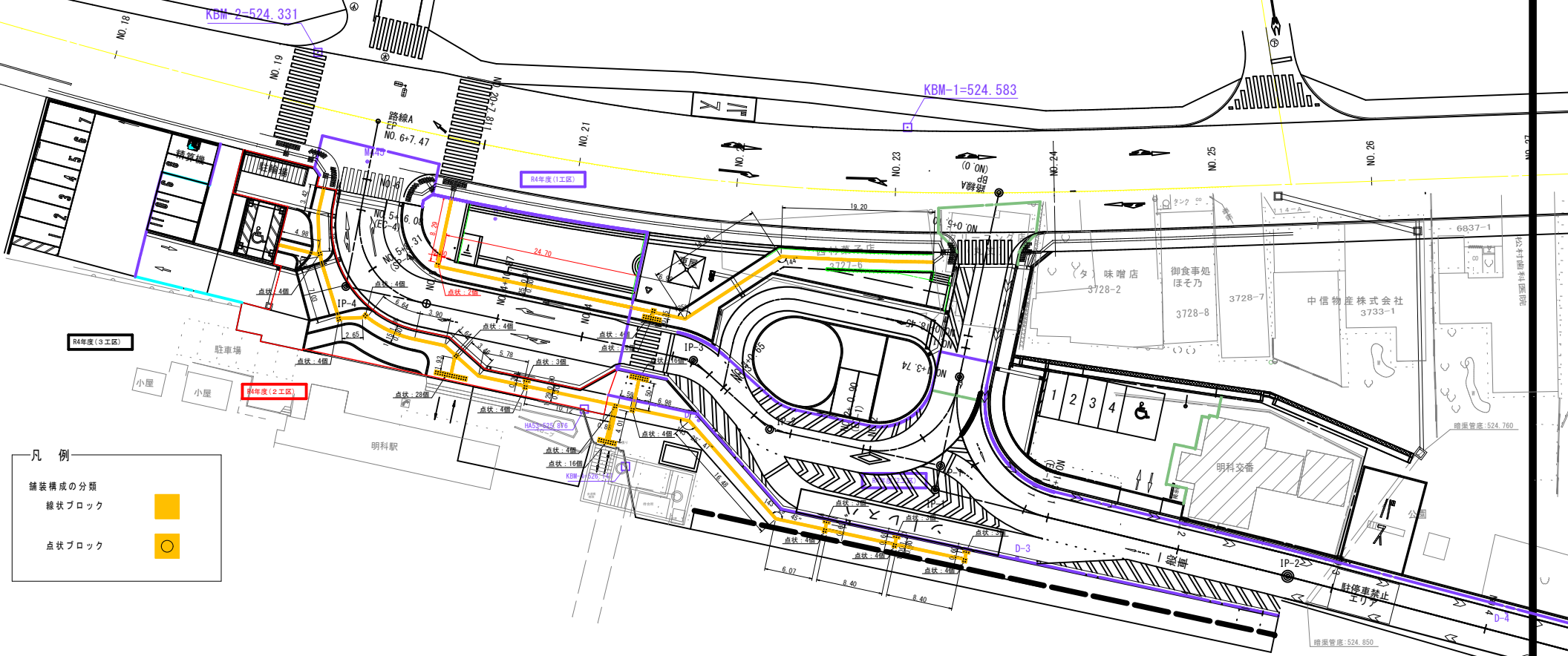
	種 別	凡 例	R4年度 (1工区)	R4年度 (2工区-1)	R4年度 (2工区-2)	R4年度 (3工区)	合計
1	車道(アスファルト舗装)		282.7	14.5	-	1618.5	1901.2
2	車道(アスファルトカラー舗装)		50.6	22.6	-	41.5	114.7
3	歩道(透水性樹脂モルタル舗装)		108.9	162.5	47.5	-	318.9
4	歩道(透水性平板ブロック舗装)		127.7	57.6	-	-	185.3
5	駐車場・転回場・待機所(アスファルト舗装)		-	51.4	168.9	-	234.8
6	駐車場(コンクリート舗装)		-	19.7	-	-	19.7
7	仮復旧(アスファルト舗装)		88.9	-	-	-	88.9

※1 各面積はCAD資料による。
※2 歩道の舗装面積は、護国路等用ブロック面積を含む。
※3 車道カラー舗装の塗布材は、路面標示工にて計上。

令和4年度	都市計画再編集中支線事業	明科駅前広場整備工事(2工区)
第 9 号	舗装工詳細図(1)	図 1:500
安曇野市明科中川手		
安曇野市役所		

舗装工詳細図(2) S=1:250
(視覚障害者用点字ブロック舗装)

R4年度(2工区)



凡 例

舗装構成の分類

線状ブロック

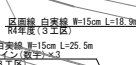
点状ブロック

令和4年度	都市計画局管内中支庁事業
第10号	明科駅前広場整備工事(2工区)
第25号	舗装工詳細図(2)
第1号	安曇野市明科中川手
第2号	安曇野市役所

S=1 : 500

R4年度(2工区)

安曇野市明科中川手
(明科駅前広場)

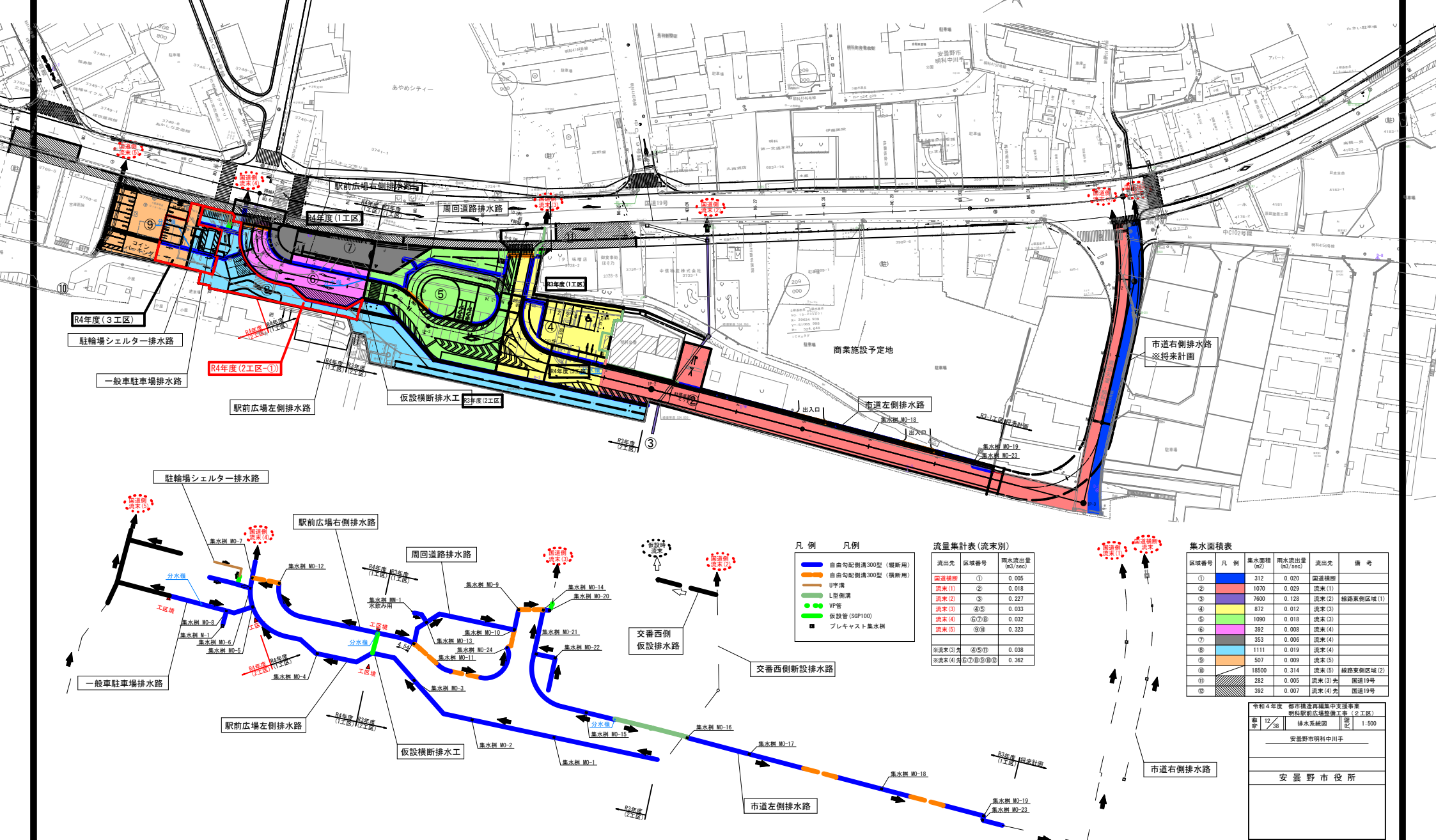


令和4年度		都市構造再編集中支援事業	
		明科駅前広場整備工事(2工区)	
期 限	11/30	路 面 標 示 工 事 詳 細 図	速 記 1:500
安曇野市明科中川手			
安曇野市役所			

排水系統図 S=1:500

R4年度(2工区)

安曇野市明科中川手
(明科駅前広場)



- 凡例
- 自由勾配側溝300型(縦断用)
 - 自由勾配側溝300型(横断用)
 - U字溝
 - L型側溝
 - VP管
 - 仮設管(SGP100)
 - プレキャスト集水溝

流量集計表(流末別)

流出先	区域番号	雨水流出量 (m ³ /sec)
国道横断	①	0.005
流末(1)	②	0.018
流末(2)	③	0.227
流末(3)	④⑤	0.033
流末(4)	⑥⑦⑧	0.032
流末(5)	⑨⑩	0.323
※流末(3)先	④⑤⑥	0.038
※流末(4)先	⑥⑦⑧⑨⑩⑪	0.362

集水面積表

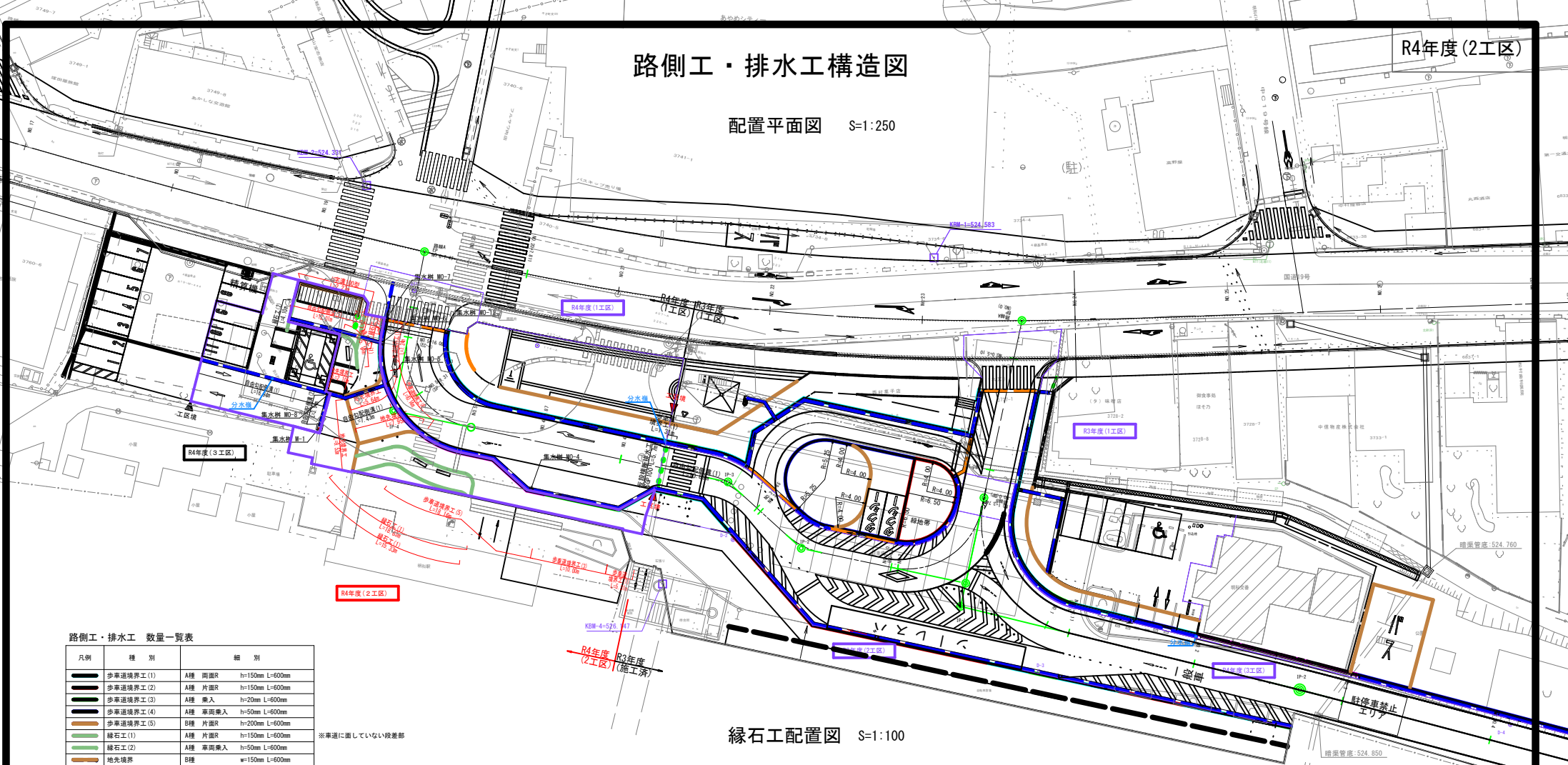
区域番号	凡例	集水面積 (m ²)	雨水流出量 (m ³ /sec)	流出先	備考
①		312	0.020	国道横断	
②		1070	0.029	流末(1)	
③		7600	0.128	流末(2)	線路東側区域(1)
④		872	0.012	流末(3)	
⑤		1090	0.018	流末(3)	
⑥		392	0.008	流末(4)	
⑦		353	0.006	流末(4)	
⑧		1111	0.019	流末(4)	
⑨		507	0.009	流末(5)	
⑩		18500	0.314	流末(5)	線路東側区域(2)
⑪		282	0.005	流末(3)先	国道19号
⑫		392	0.007	流末(4)先	国道19号

令和4年度 都市計画局管内中川手安曇野市
明科駅前広場整備工事(2工区)
排水系統図 図号 1:500
安曇野市明科中川手
安曇野市役所

路側工・排水工構造図

R4年度(2工区)

配置平面図 S=1:250



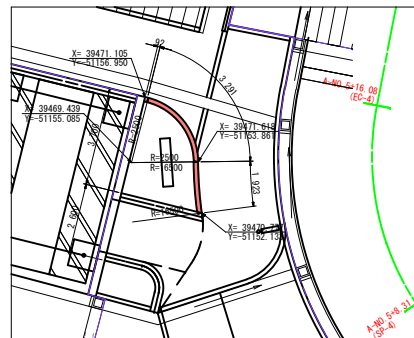
路側工・排水工 数量一覧表

凡例	種別	細別
	歩道境界工(1)	A種 片面R h=150mm L=600mm
	歩道境界工(2)	A種 片面R h=150mm L=600mm
	歩道境界工(3)	A種 断面入 h=20mm L=600mm
	歩道境界工(4)	A種 断面入 h=50mm L=600mm
	歩道境界工(5)	B種 片面R h=200mm L=600mm
	縁石工(1)	A種 片面R h=150mm L=600mm
	縁石工(2)	A種 断面入 h=50mm L=600mm
	地先境界	B種 w=150mm L=600mm
	自由勾配側溝(1)	300型(縦断用)
	自由勾配側溝(2)	300型(横断用)
	L型側溝	h=20~200mm L=600mm
	暗渠VP	φ150, φ75
	U字溝	100型
	仮設管SP	φ100

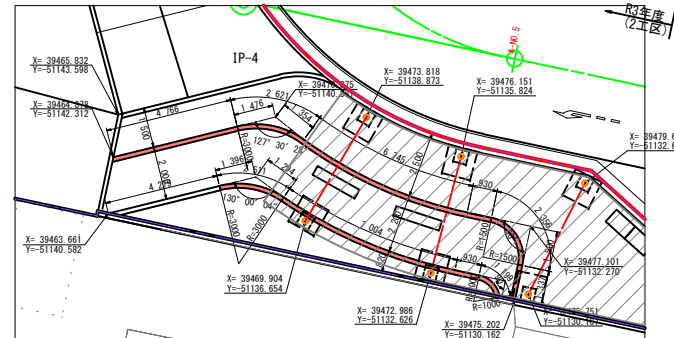
※車道に面していない段差部

縁石工配置図 S=1:100

身障者駐車場横

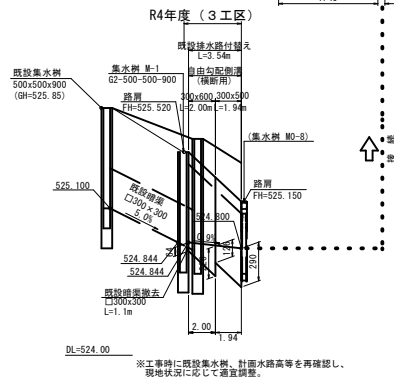
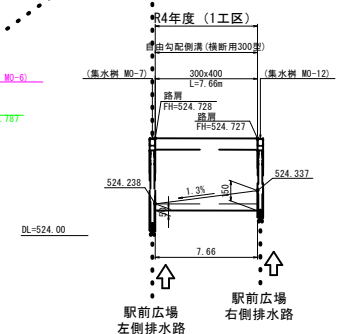
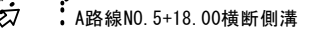
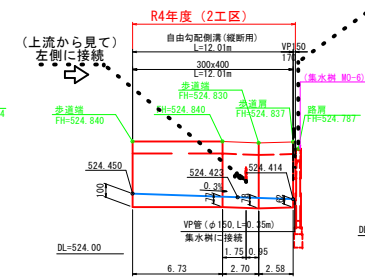
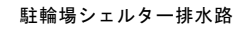
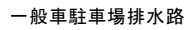


駅舎前



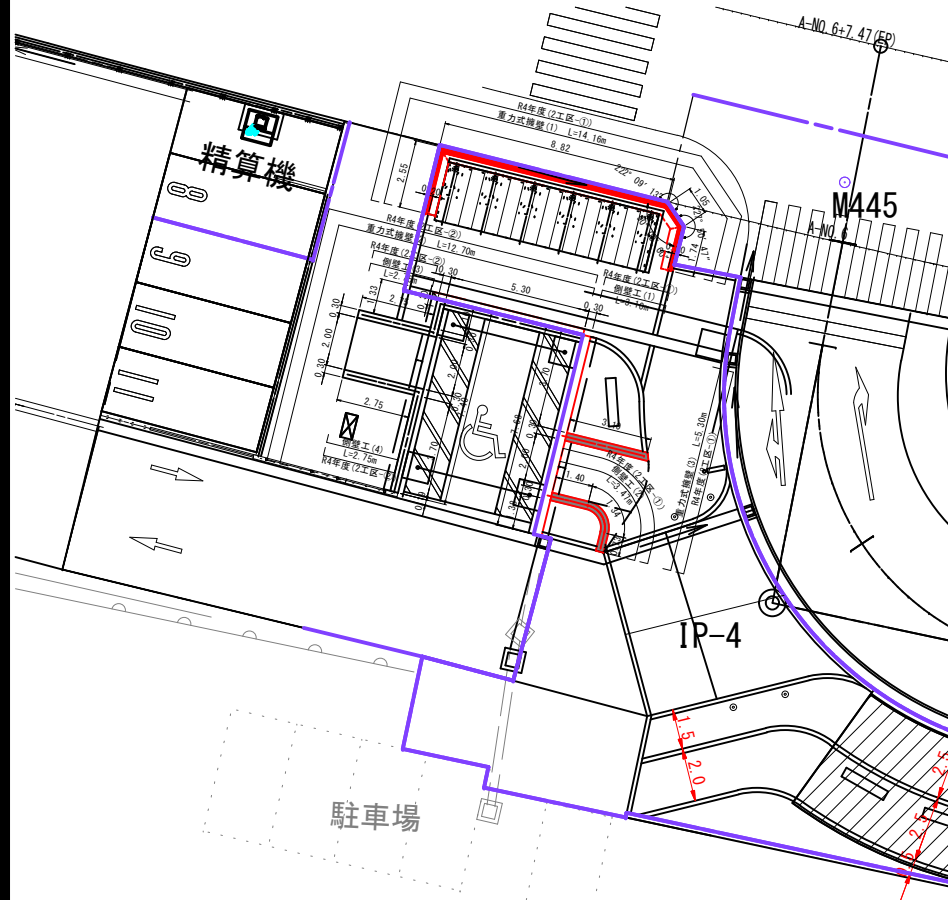
V=1 : 20
H=1 : 200

駅前広場左側排水路

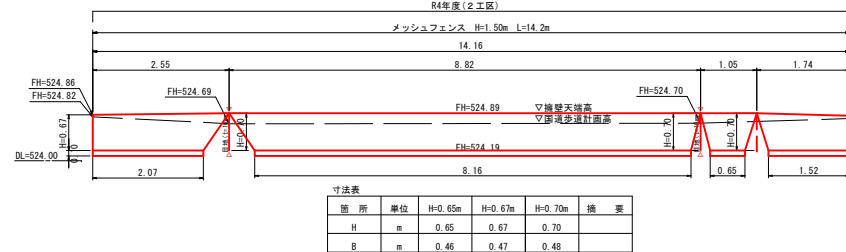


※工事時に既設集水樹、計画水路高等を再確認し、
現地状況に応じて適宜調整。

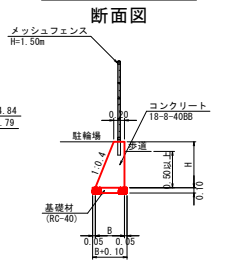
重力式擁壁・側壁工展開図



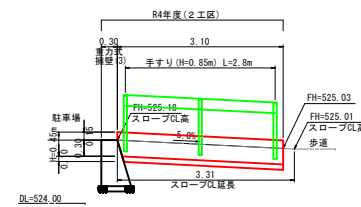
重力式擁壁(1) S=1:50



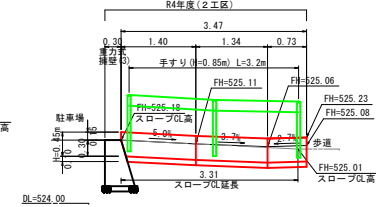
重力式擁壁(1) S=1:50



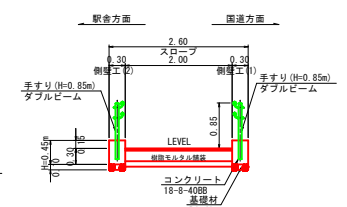
側壁工(1) S=1:50



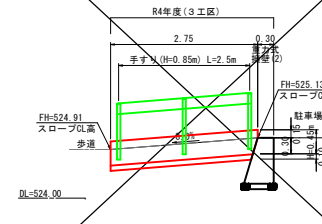
側壁工(2) S=1:50



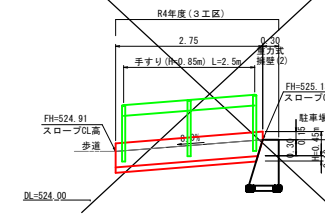
側壁工(1)(2) S=1:50



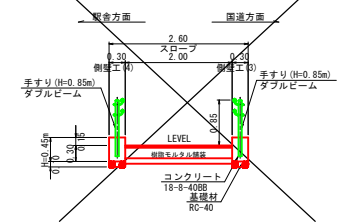
側壁工(3) S=1:50



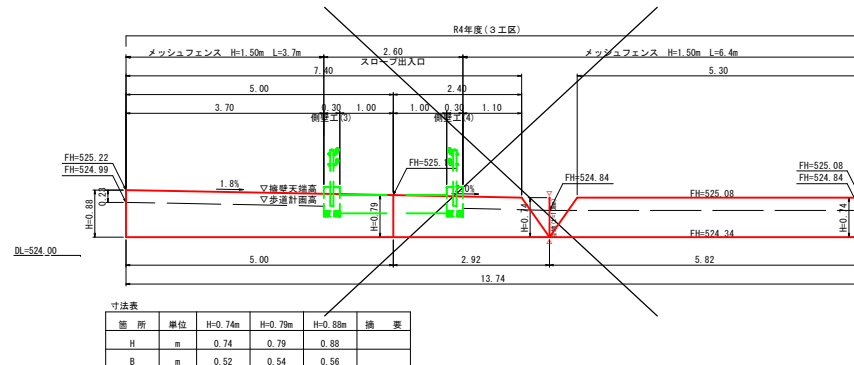
側壁工(4) S=1:50



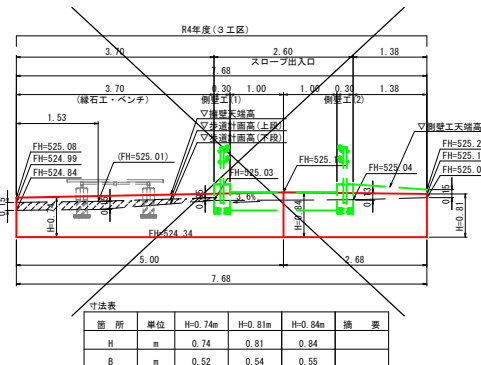
側壁工(3)(4) S=1:50



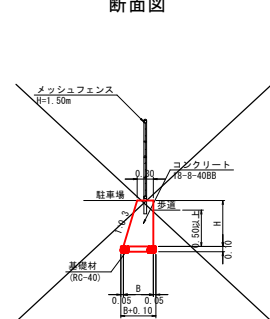
重力式擁壁(2) S=1:50



重力式擁壁(3) S=1:50



重力式擁壁(2)(3) S=1:50



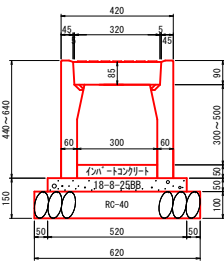
小構造物図(1)

S=1:10

R4年度(2工区)

自由勾配側溝(縦断用)

(300型)

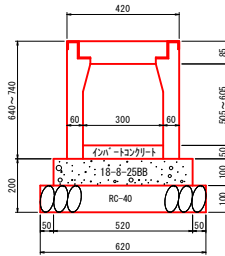


材料表

名称	規格	計算式	単位	数量
自由勾配側溝	300×300~500	10×2	m	2
基礎コンクリート	18-8-2588	10×0.52×0.05	m ³	0.26
型枠	RC-40	10×0.05×2	m ²	1
基礎砕石	RC-40	10×0.02	m ²	0.2

自由勾配側溝(横断用)

(300型)

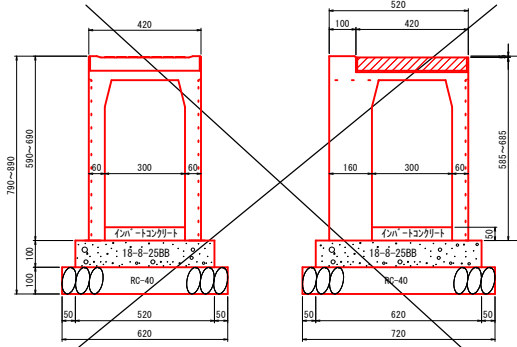


材料表

名称	規格	計算式	単位	数量
自由勾配側溝	300×300~500	10×2	m	2
基礎コンクリート	18-8-2588	10×0.52×0.1	m ³	0.52
型枠	RC-40	10×0.1×2	m ²	2
基礎砕石	RC-40	10×0.02	m ²	0.2

プレキャスト集水樹工

300型(300×500, 600)

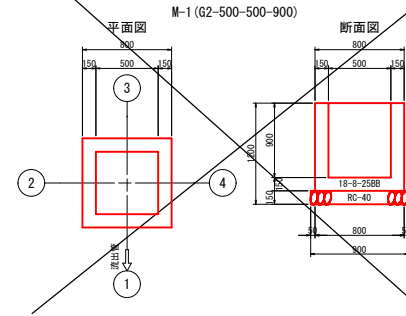


材料表

名称	規格	計算式	単位	数量
プレキャスト集水樹	300×300, 400		m	1
基礎コンクリート	18-8-2588	0.52×0.62×0.10	m ³	0.03
型枠	RC-40	(0.62×0.52)×0.1×2	m ²	0.2
基礎砕石	RC-40	0.62×0.72	m ²	0.4
インバート	18-8-2588	0.30×0.30×0.05	m ³	0.01

集水樹(現場打)

M-1 (G2-500-500-900)

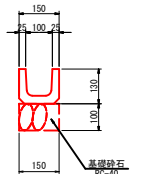


材料表

コンクリート	型枠	基礎砕石
(m ³)	(m ²)	(m ²)
0.45	5.5	0.8

U字溝

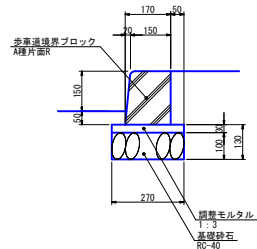
100型



材料表	(1m当たり)
基礎砕石	(m ²)
0.2	

縁石工(1)

マウントアップ: A種片面R
※車道に面していない段差部

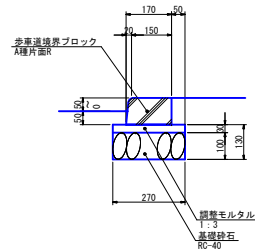


材料表

モルタル	基礎砕石
(m ³)	(m ²)
0.08	2.7

縁石工(2)

マウントアップ: A種片面R
※車道に面していない段差部



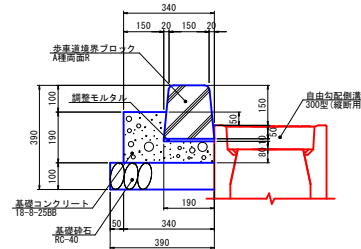
材料表

モルタル	基礎砕石
(m ³)	(m ²)
0.08	2.7

歩車道境界工(自由勾配側溝との組み合わせ)

(1) 歩車道境界工 両面R

セミフラット

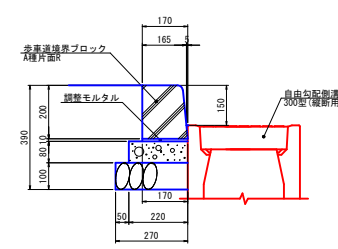


材料表

モルタル	コンクリート	型枠	基礎砕石
(m ³)	(m ³)	(m ²)	(m ²)
0.02	0.43	1.9	3.9

(2) 歩車道境界工 片面R

マウントアップ(h=150mm)

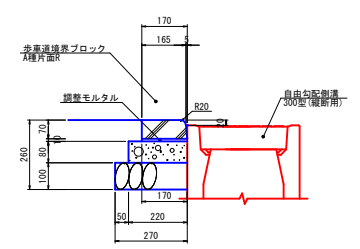


材料表

モルタル	コンクリート	型枠	基礎砕石
(m ³)	(m ³)	(m ²)	(m ²)
0.02	0.18	0.8	2.7

(3) 歩車道境界工 片面R

乗入

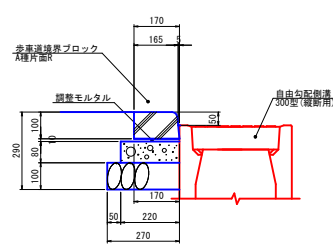


材料表

モルタル	コンクリート	型枠	基礎砕石
(m ³)	(m ³)	(m ²)	(m ²)
0.02	0.18	0.8	2.7

(4) 歩車道境界工 片面R

車両乗入

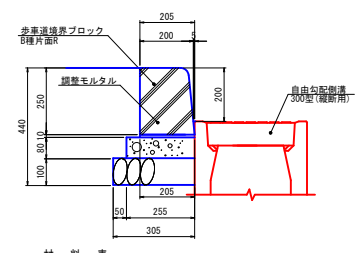


材料表

モルタル	コンクリート	型枠	基礎砕石
(m ³)	(m ³)	(m ²)	(m ²)
0.02	0.18	0.8	2.7

(5) 歩車道境界工 片面R

マウントアップ(h=200mm)

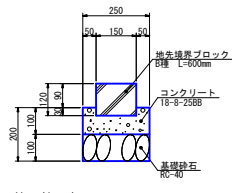


材料表

モルタル	コンクリート	型枠	基礎砕石
(m ³)	(m ³)	(m ²)	(m ²)
0.02	0.20	0.8	3.1

地先境界工

(B種)



材料表

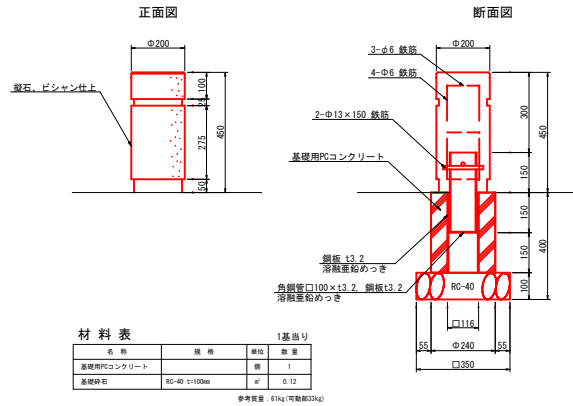
コンクリート	型枠	基礎砕石
(m ³)	(m ²)	(m ²)
0.021	0.200	0.250

※1 製品は参考図を示す。
※2 使用材料は同等品以上の規格とする。

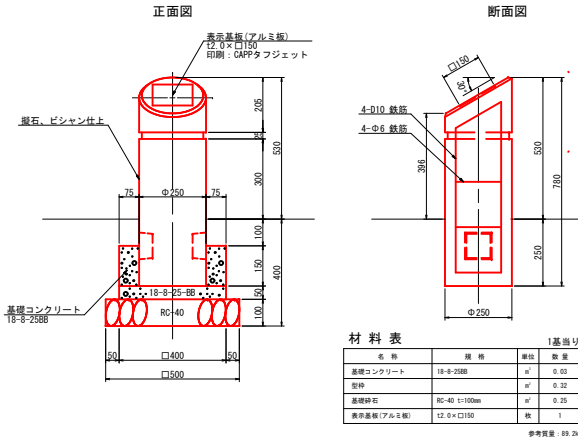
令和4年度	都市構造再編集中支援事業	明料駅前広場整備工事(2工区)
欄	18	38
小構造物図(1)	図	1:10
安曇野市明料中川手		
安曇野市役所		

小構造物図(2)

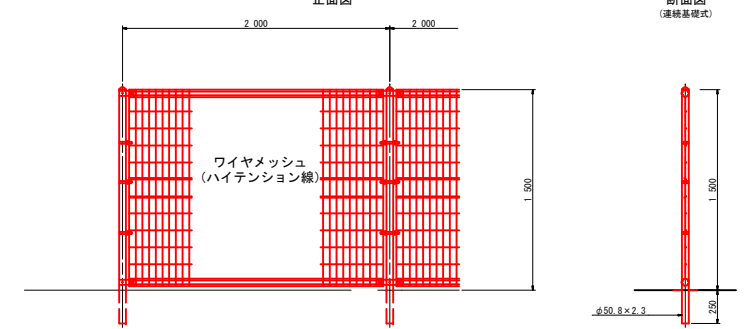
車止め工(1)
取外し式(Φ200×450)
EX-81043(指定品) S=1:10



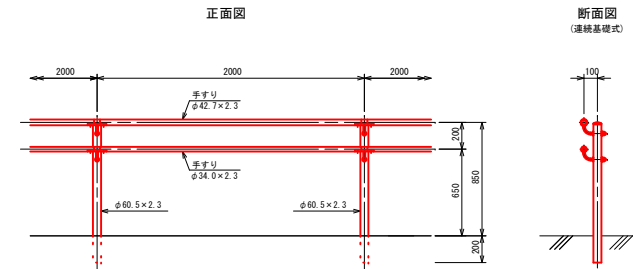
車止め工(2)
固定式(Φ250×530)
S=1:10



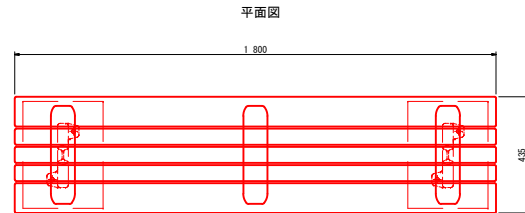
メッシュフェンス
(H=1.50m) S=1:20



手すり(H=0.85m)
MHR-8.5(指定品) S=1:20



ベンチ(据置式)
背もたれなし L=1.8m S=1:10



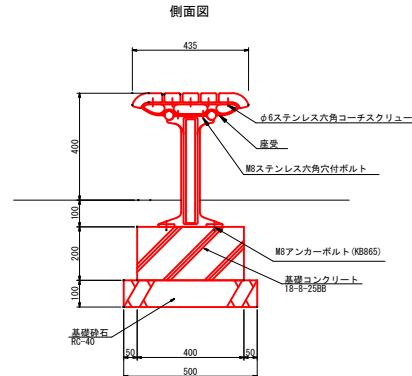
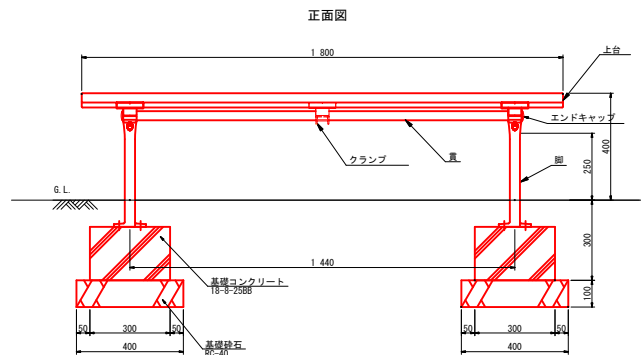
材料表

名 称	規 格	単位	数 量
基礎用PCコンクリート		体	0.03
基礎砕石	RC-40 t:100mm	m ²	0.56
基礎砕石	RC-40 t:100mm	m ²	0.4

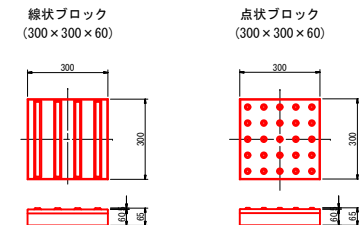
1基当り

参考質量: 48kg

側面図



視覚障害者用ブロック S=1:10



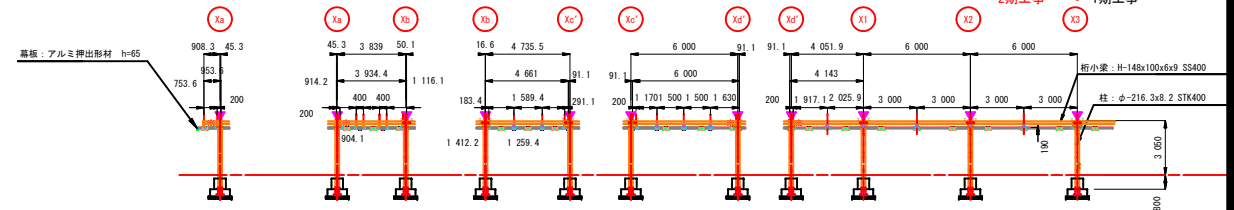
※1 製品は参考図を示す。
※2 使用材料は同等品以上の規格とする。

令和4年度	都市構造再編集中支援事業	朝枝駅前広場整備工事(2工区)
欄 19	38	小構造物図(2)
図 1	2	1:10
安曇野市朝枝中川手		
安曇野市役所		

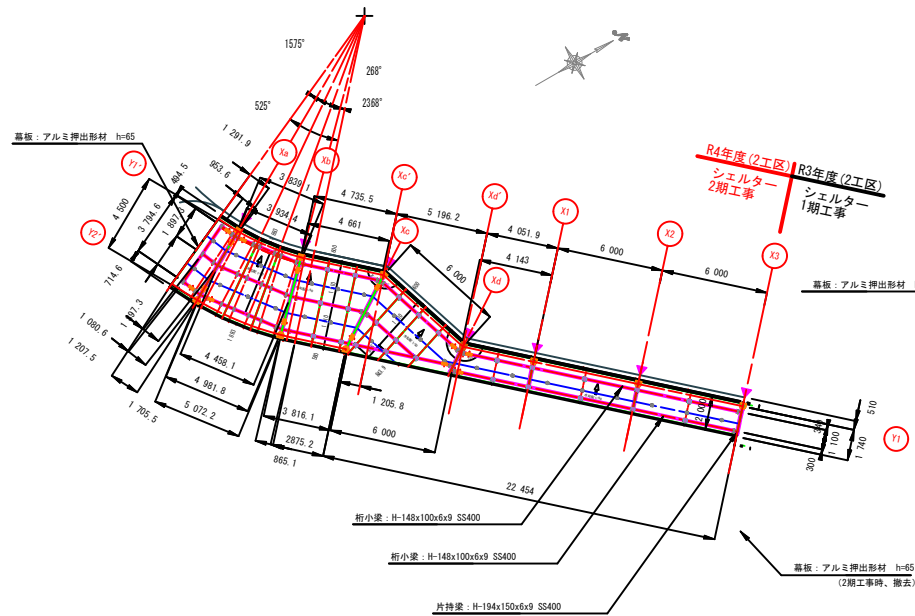
歩道シェルター構造図 (1)

R4年度(2工区)

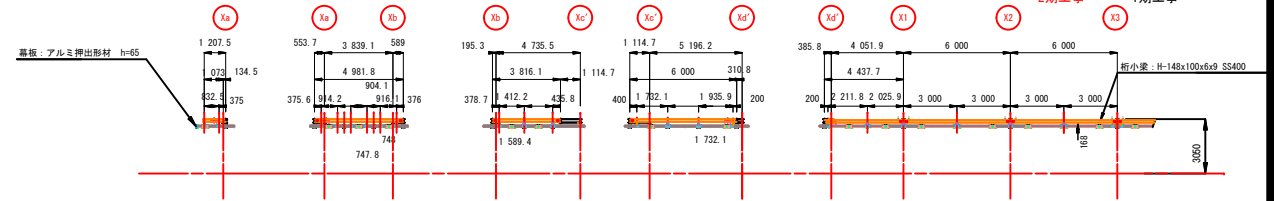
断面図 S=1:150



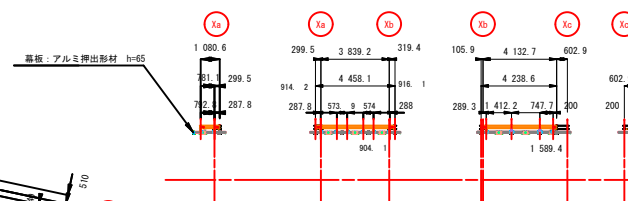
全体屋根伏図 S=1:150



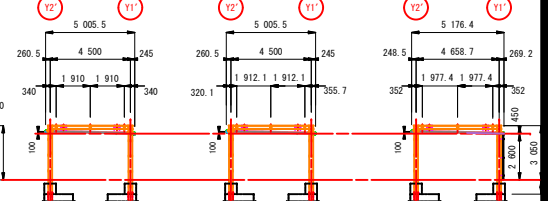
Y1 通り芯+340 Y1' 通り芯 +340



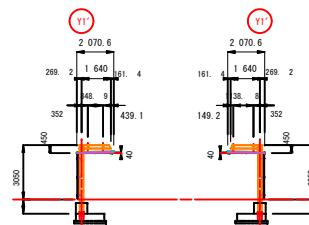
Y2' 通り芯-340



Y1 通り芯+1440



Y1 - Y2' 通り芯中間



Xa 通り芯

Xb 通り芯

Xc 通り芯

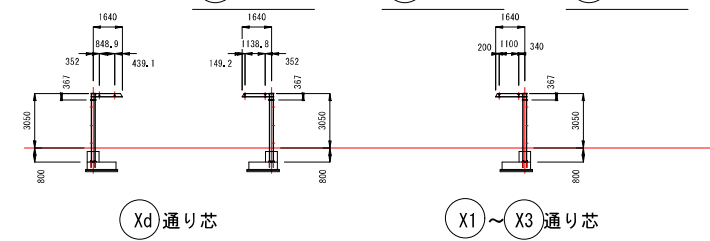
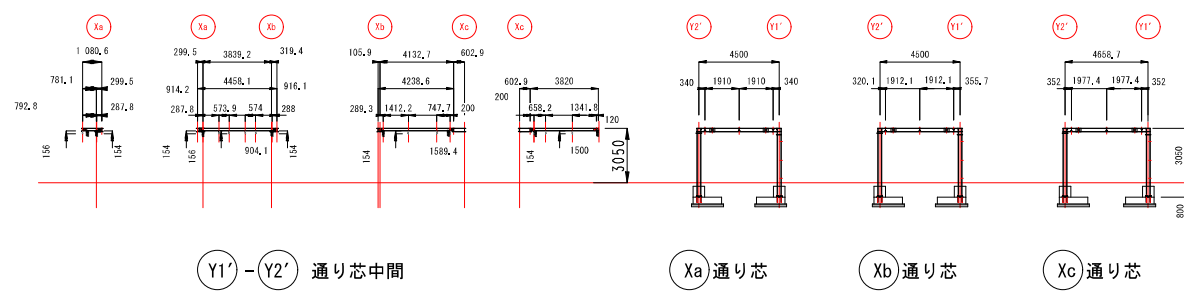
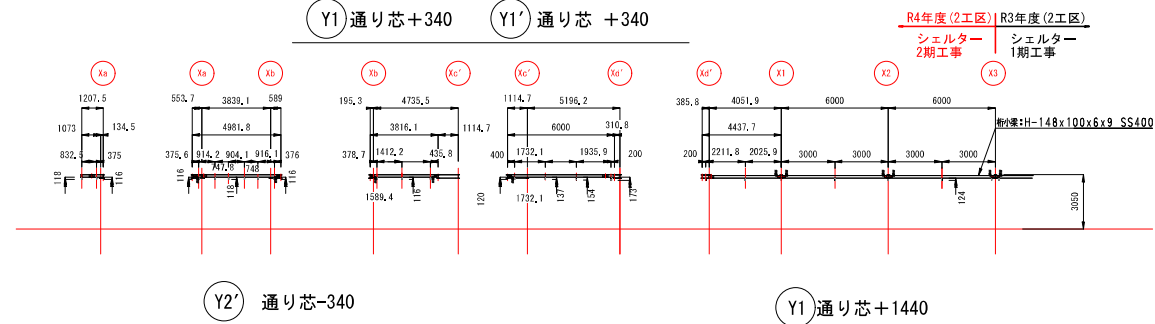
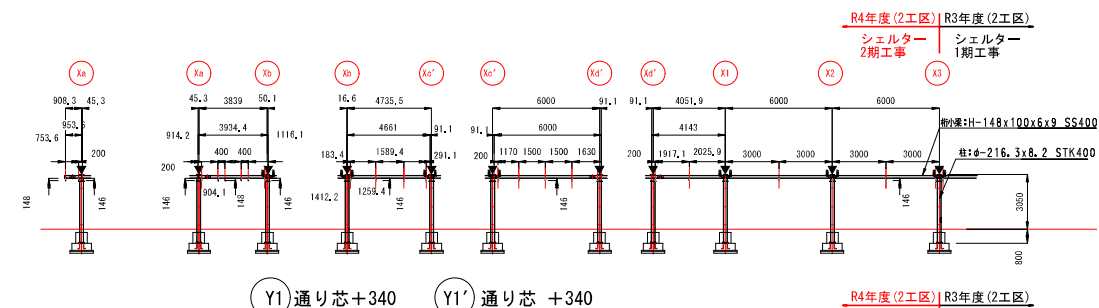
Xd 通り芯

X1 ~ X3 通り芯

▲ 壁柱位置を示す。

令和4年度	都市計画局建築中継事業
第21期	明科駅前広場整備工事(2工区)
歩道シェルター構造図(1)	図示
安曇野市明科中川手	
安曇野市役所	

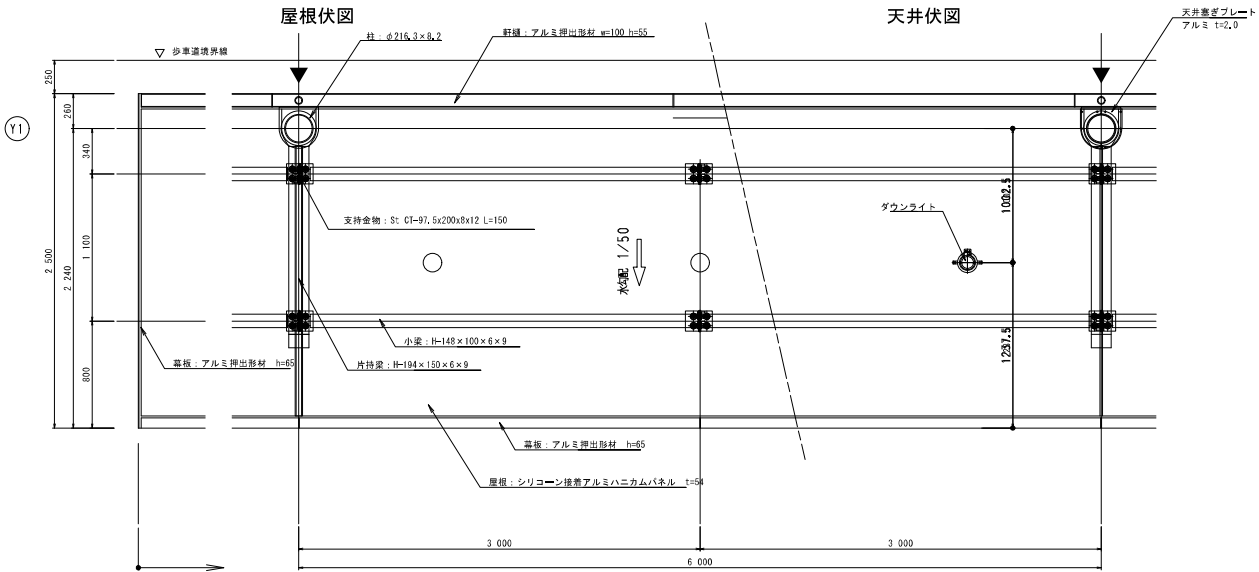
R4年度(2工区)



柱	φ=216.3×φ8.2 STK400	f1	PL-9×180×146 SS400
片持梁	H-194×150×6×9 SS400	f1a	PL-9×180×146 SS400
大梁	H-194×150×6×9 SS400	f2	PL-9×180×124 SS400
桁小梁	H-148×100×6×9 SS400	f2a	PL-9×180×124 SS400
小梁	H-148×100×6×9 SS400	f3	PL-9×180×116 SS400
		f4	PL-9×180×118 SS400
		f5	PL-9×180×120 SS400
		f6	PL-9×180×137 SS400
		f7	PL-9×180×148 SS400
		f8	PL-9×180×154 SS400
		f9	PL-9×180×156 SS400
		f10	PL-9×180×173 SS400
		f11	PL-4.5×25×68 SS400
		f12	PL-4.5×25×78 SS400
		f13	PL-4.5×25×56 SS400
鉄骨柱上座鋼	屋根柱上座鋼り (DP) (1層) 常置鋼化炭素繊維補強材		
鉄骨柱上座鋼	実地は8月8日増し シンクリオプライマー増し 橋脚物作じまめポイント入替		

歩道シェルター構造図 (3) S=1:20
一般部

R4年度(2工区)



仕上表

部 位	材 質	表面処理
屋根	シリコン接着アルミハニカムパネル t=54	フッ素樹脂塗付塗装
支持金物	St CT-97, 5x200x8x12 L=150	溶融亜鉛めっき処理
幕板 (三角)	アルミ押出型材 h=65	フッ素樹脂塗付塗装
幕板 (FB)	アルミ押出型材 h=65	フッ素樹脂塗付塗装
軒種	アルミ押出型材 w=100 h=55	フッ素樹脂塗付塗装
壁種	アルミ φ60x2.0	フッ素樹脂塗付塗装
目地	シリコンガasket	
シーリング	変成シリコンシーリング (MS-2)	アルミ押出型材張り

部材表

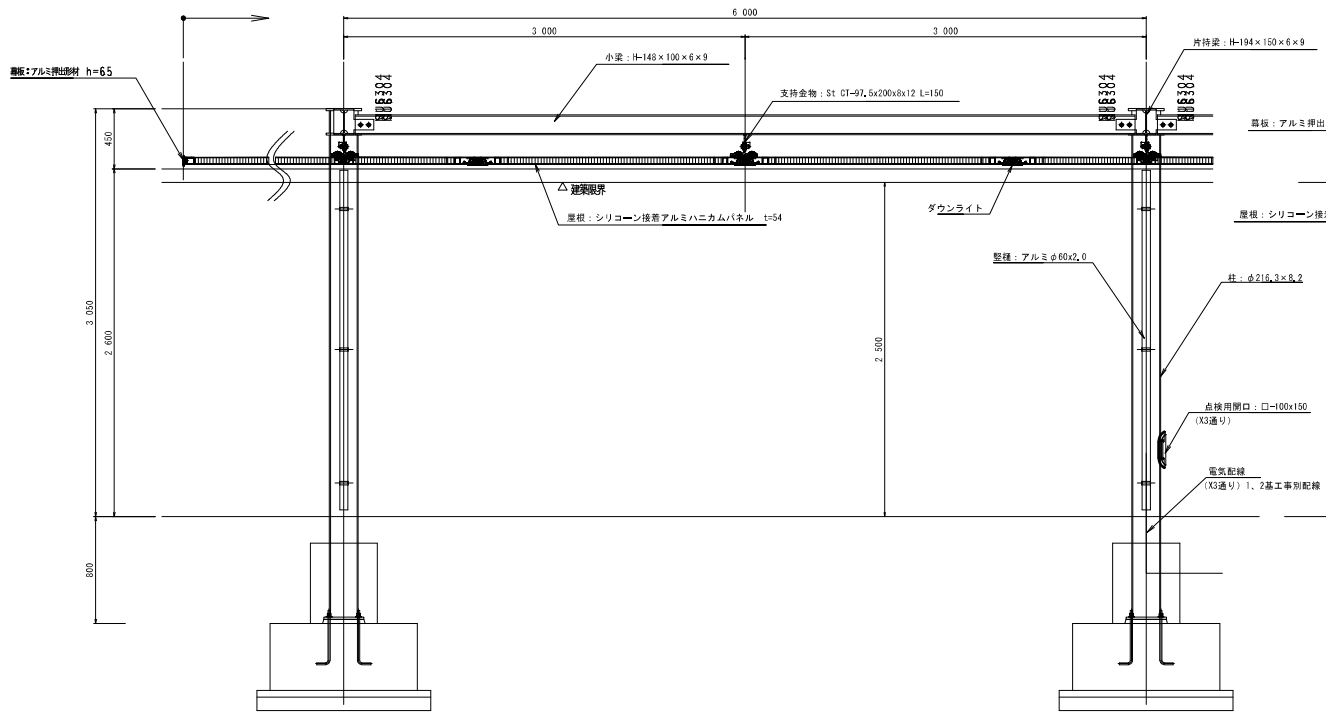
部 材	仕 様	材 質
柱	φ=216, 3x8, 2 STK400	f1・f2 FL-φx180x146 SS400
片持梁	H-194x150x6x9 SS400	f2・f2a FL-φx180x124 SS400
桁小梁	H-148x100x6x9 SS400	f3 FL-φx180x116 SS400
小梁	H-148x100x6x9 SS400	f4 FL-φx180x118 SS400
		f5 FL-φx180x120 SS400
		f6 FL-φx180x137 SS400
		f7 FL-φx180x148 SS400
		f8 FL-φx180x154 SS400
		f9 FL-φx180x156 SS400
		f10 FL-φx180x173 SS400
		ft1 FL-φx180x173 SS400
		ft2 FL-φx180x173 SS400
		ft3 FL-φx180x173 SS400
縦骨止上塗装	耐候性塗料塗り (DP) (1 級 常温硬化型フッ素樹脂塗料)	
縦骨止下塗装	素地ごしらえ8種+ジソクリックプライマー2種+構造物用さび止めペイントA種	

ダウンライト

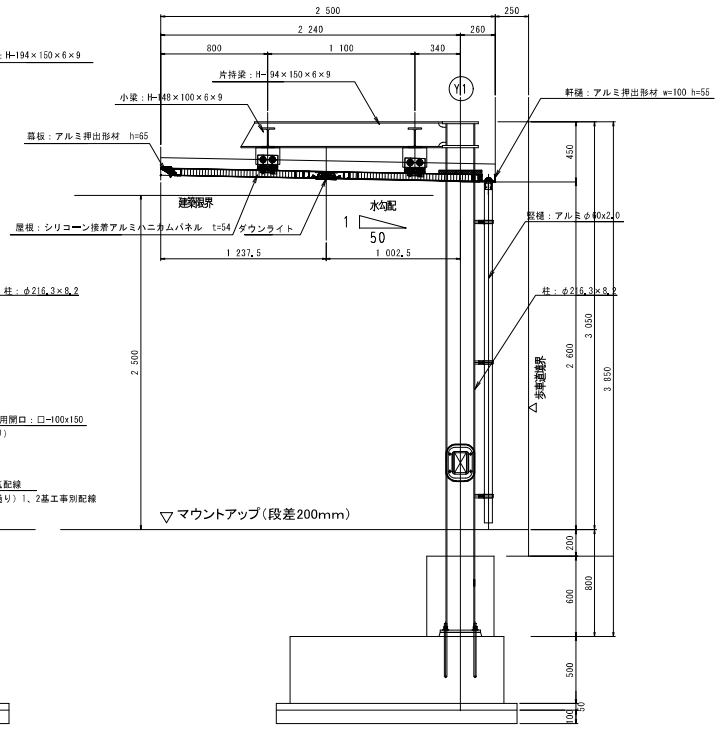
規格	LED仕様
定格電圧	AC100V
周波数	50/60Hz
入力電力	4.8W
入力電圧	0.081A
タイプ	低出力タイプ (昼白色)
型 番	NP0501W
カバー塗装色	ハニカムパネル同色



縦断面詳細図



横断面詳細図

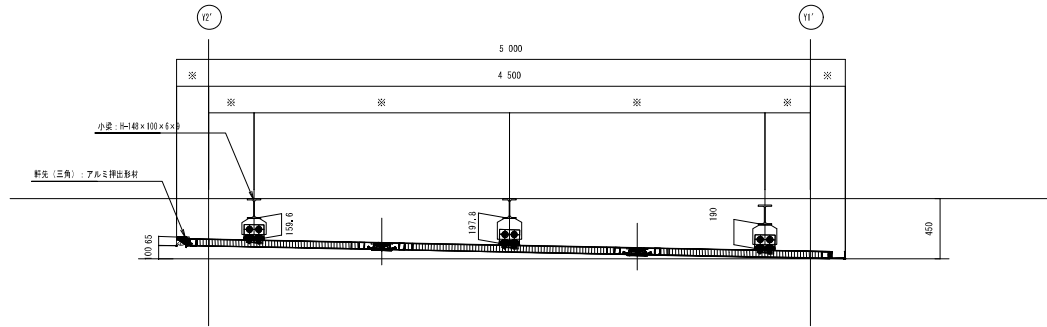


歩道シェルター構造図 (4) S=1:20

屋根拡幅部

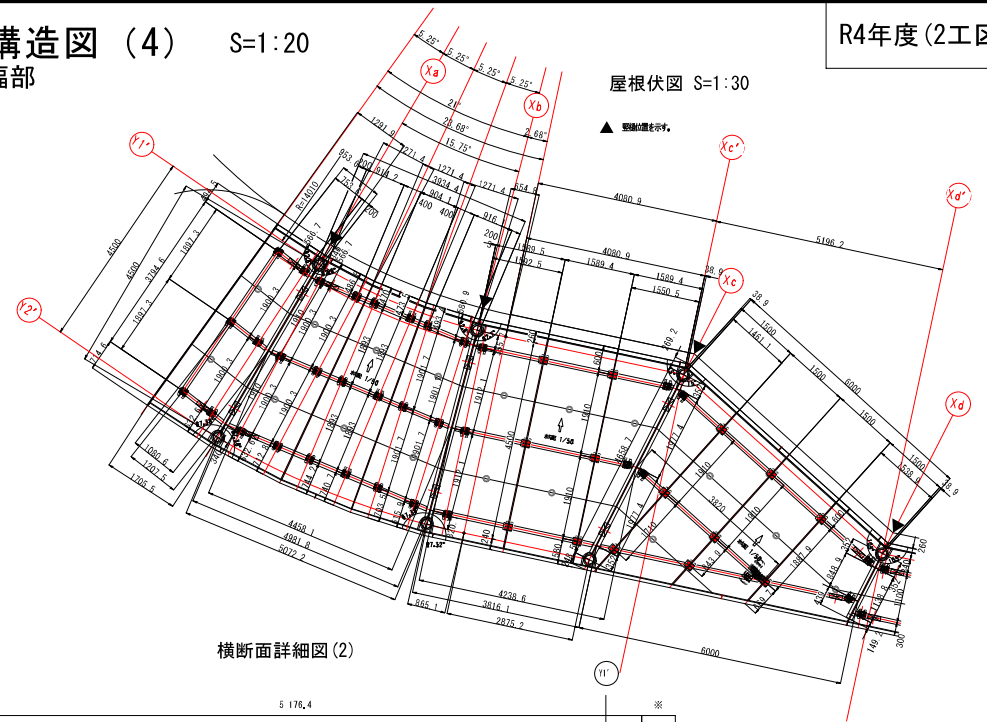
R4年度(2工区)

断面図

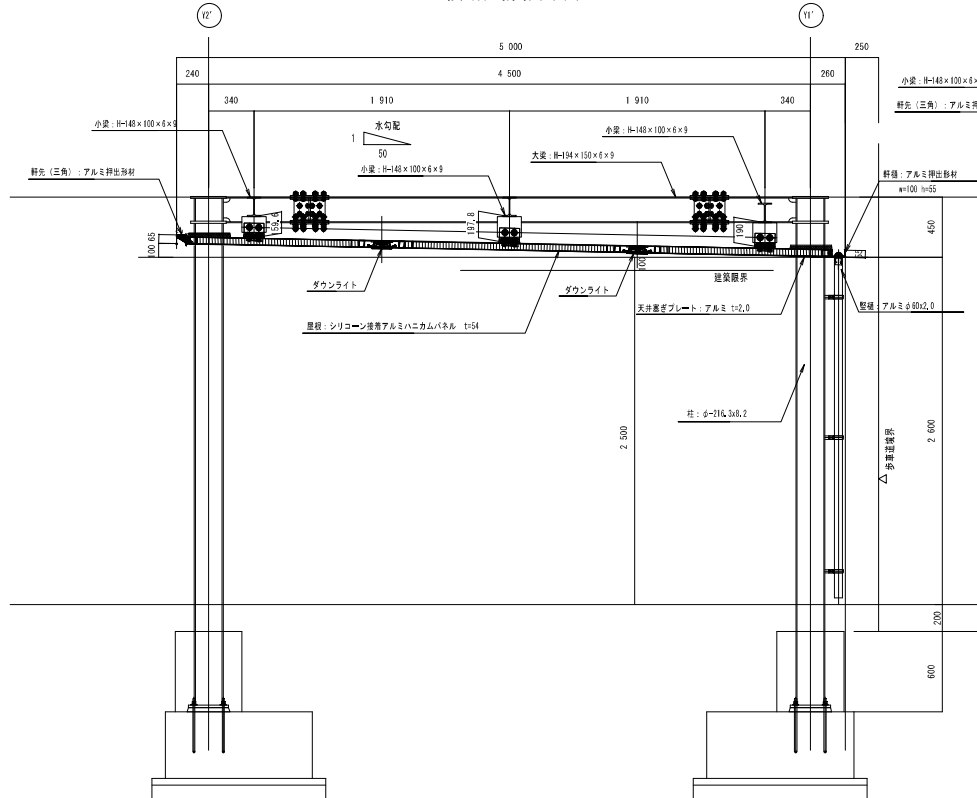


・※ 印寸法は屋根伏図参照の事

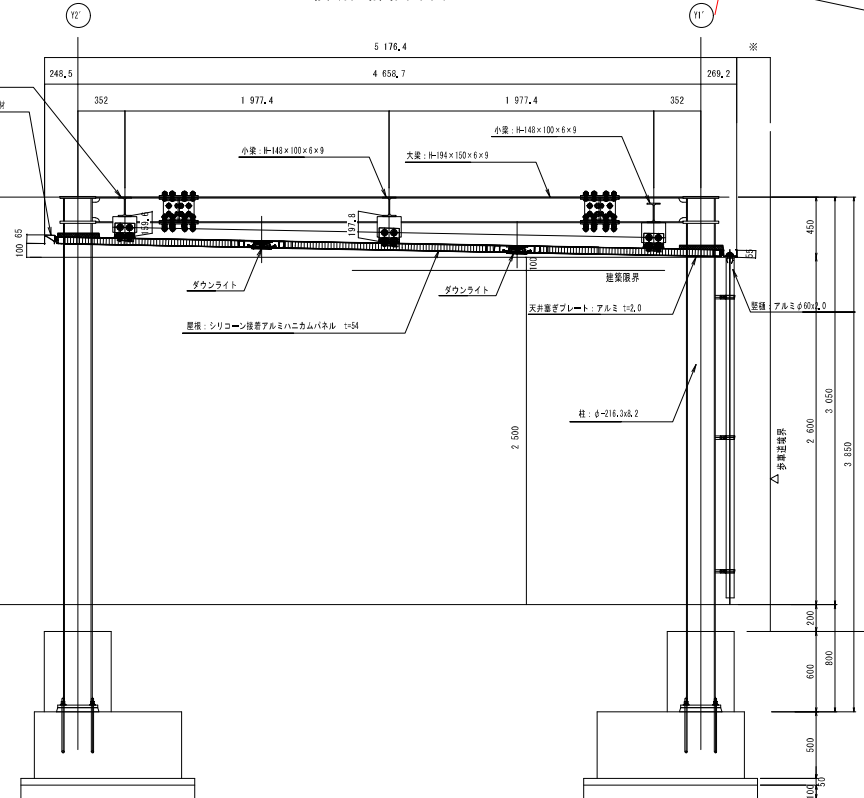
屋根伏図 S=1:30



横断面詳細図(1)



横断面詳細図(2)

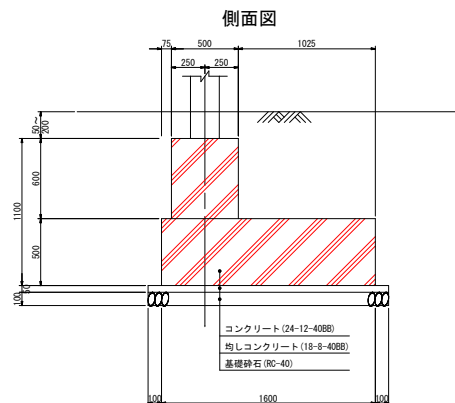


歩道シェルター構造図 (5)

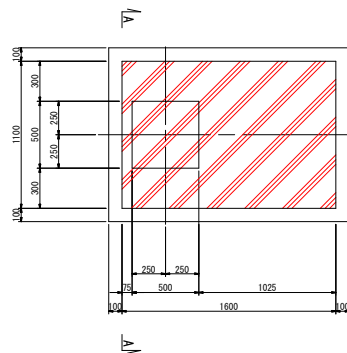
一般部

2期工事 R4年度(2工区) N= 3基

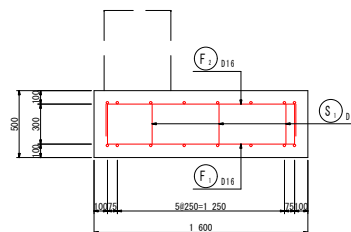
基礎工(1)構造図 S=1:20



平面图

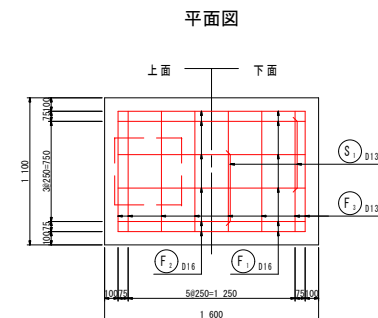


断面図

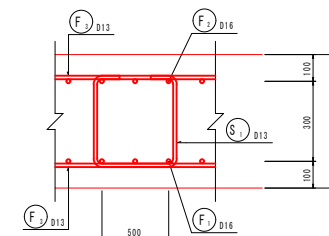


根巻コンクリート部

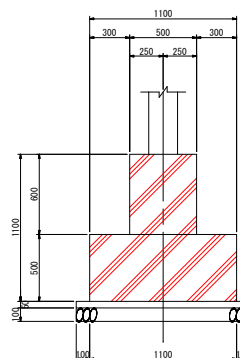
S=1:20



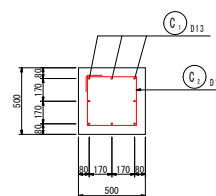
配筋要領図



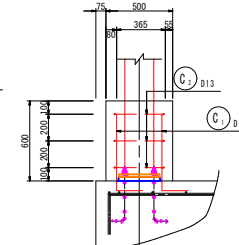
A—A 断面



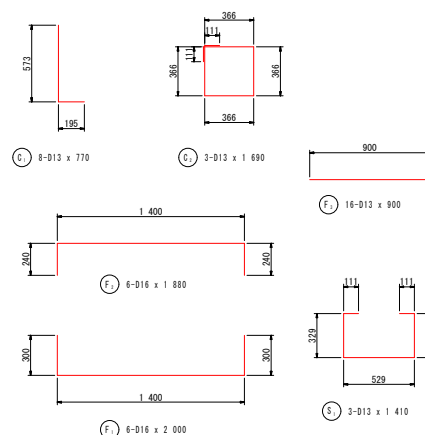
平面图



断面図



鉄筋加工図



鉄筋質量表

鉄筋質量表							(1基当り)
種 別	径	長 さ	本 数	単 位 質 量	1本当り質量	質 量	摘 要
C1	D 13	770	8	0.995	0.766	6	<input type="checkbox"/>
2	D 13	1.690	3	0.995	1.682	5	<input type="checkbox"/>
F1	D 16	2.000	6	1.56	3.120	19	<input type="checkbox"/>
2	D 16	1.880	6	1.56	2.933	18	<input type="checkbox"/>
3	D 13	900	16	0.995	0.896	14	<input type="checkbox"/>
S1	D 13	1.410	3	0.995	1.403	4	<input type="checkbox"/>
合 計		D 16	37	kg			
		D 13	29	kg			
		総質量	66	kg	S0345		

(1 基当り)

※1 製品は参考図を示す。
 ※2 使用材料は同等品以上の規格とする。
 ※3 現場状況等に応じ規格を決定すること。
 ※4 地盤反力度 $q=70\text{kN/m}^2$ 以上

令和4年度 都市構造再編集中支援事業 明科駅前広場整備工事（2工区）				
南	25	39	歩道シェルター構造図	図示

安曇野市役所

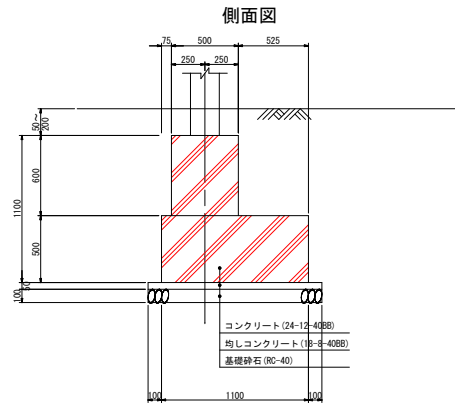
歩道シェルター構造図（6）

屋根拡幅部

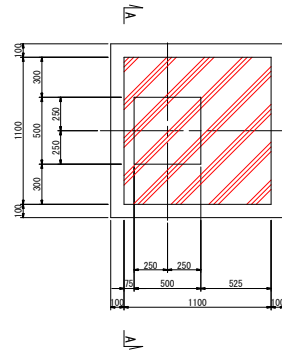
2期工事 R4年度（2工区） N= 6基

R4年度（2工区）

基礎工（2）構造図 S=1:20

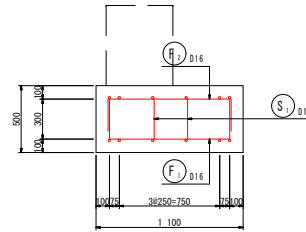


平面図

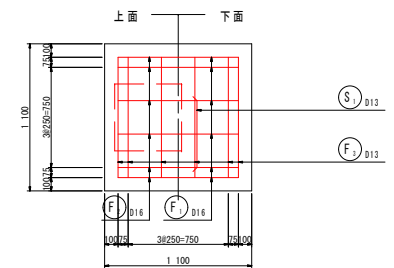


基礎工（2）配筋図 S=1:20

断面図



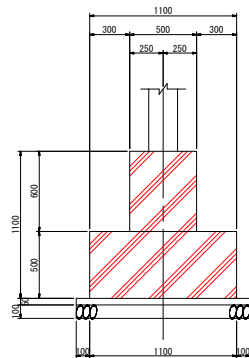
平面図



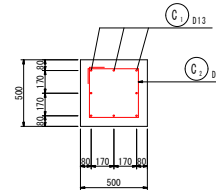
根巻コンクリート部

配筋要領図

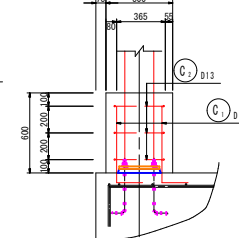
A-A断面



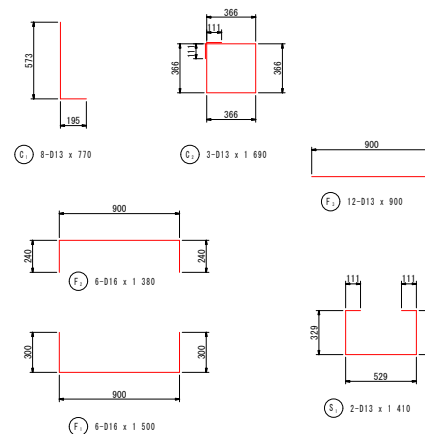
平面図



断面図



鉄筋加工図



鉄筋質量表

（1基当り）

種別	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	摘要
C1	D 13	770	8	0.995	0.766	6	L
C2	D 13	1 690	3	0.995	1.682	5	□
F1	D 16	1 500	6	1.56	2.340	14	—
F2	D 16	1 380	6	1.56	2.153	13	—
F3	D 13	900	12	0.995	0.896	11	—
S1	D 13	1 410	2	0.995	1.403	3	□
合計	D 16		27	kg			
	D 13		25	kg			
総質量			52	kg	SD345		

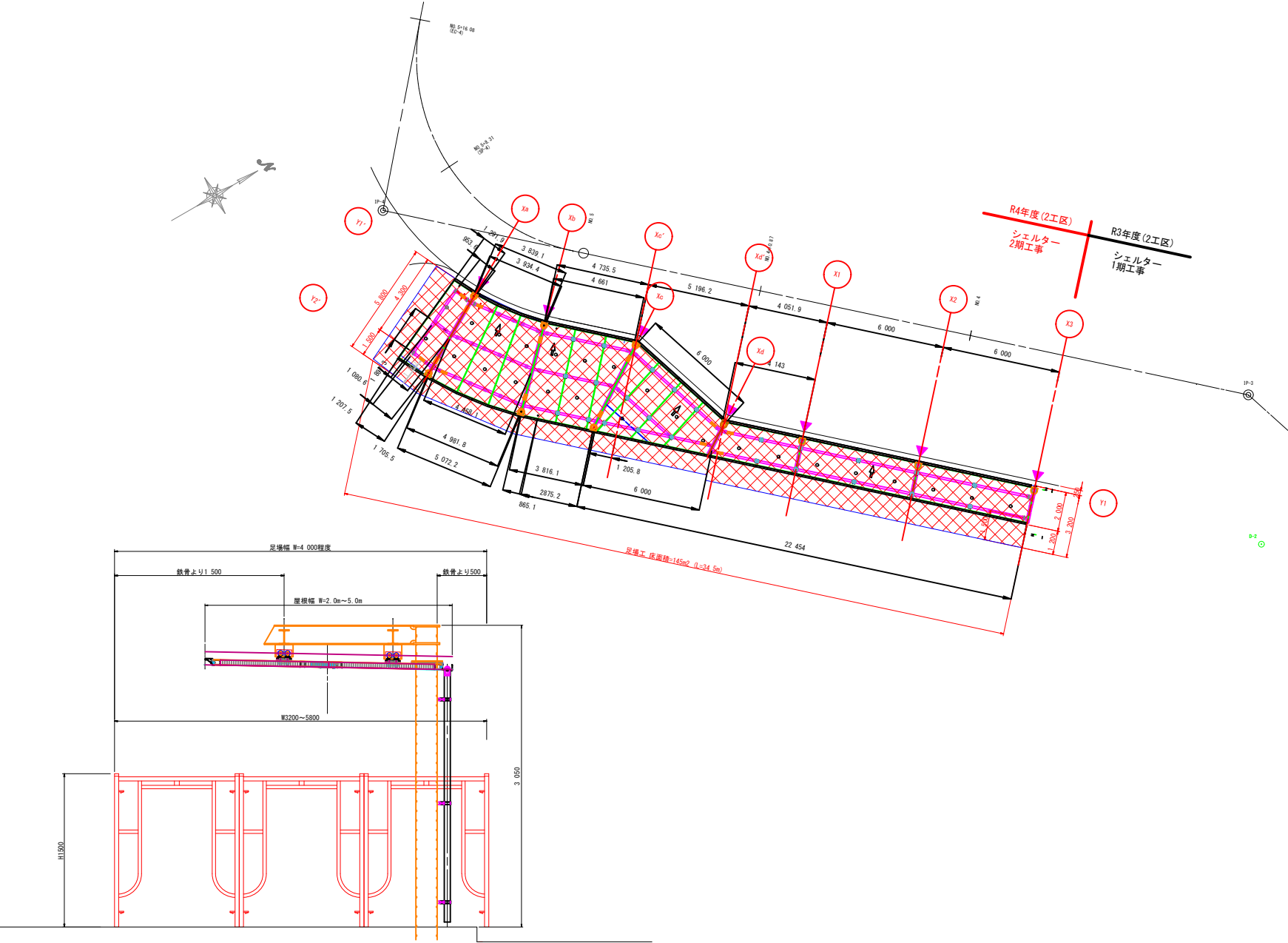
※1 製品は参考図を示す。
※2 使用材料は同等品以上の規格とする。
※3 現場状況等に応じ規格を決定すること。
※4 地盤反力度 q=75kN/m²以上

令和4年度	都市構造再編集中支援事業
第2期工事	歩道シェルター構造図（2工区）
図示	安曇野市明科中川手
安曇野市役所	

歩道部シェルター足場工

R4年度(2工区)

平面図 S=1:150



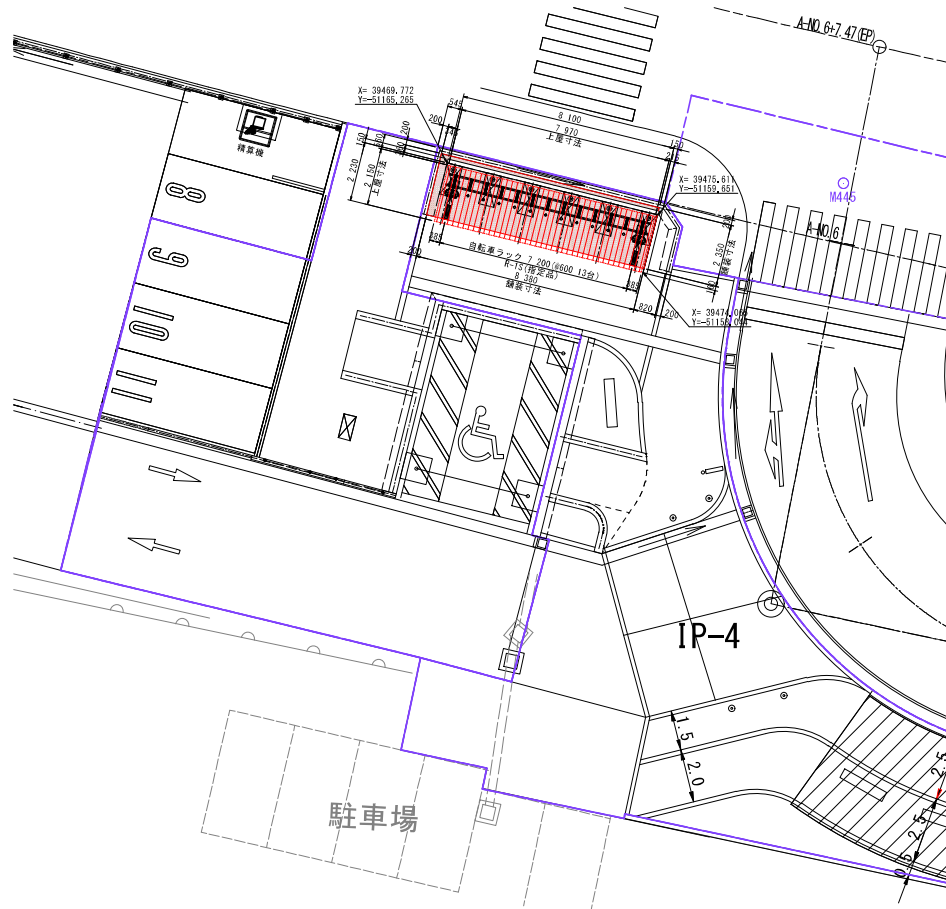
令和4年度	都市計画局建築中支援事業
事業	駅前広場整備工事(2工区)
図	歩道シェルター構造図
縮尺	1:150
安曇野市明科中川手	
安曇野市役所	

駐輪場施設平面図

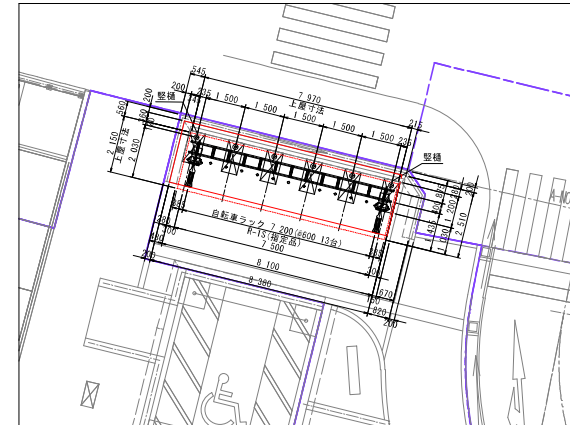
R4年度(2工区)

配置平面図 S=1:100

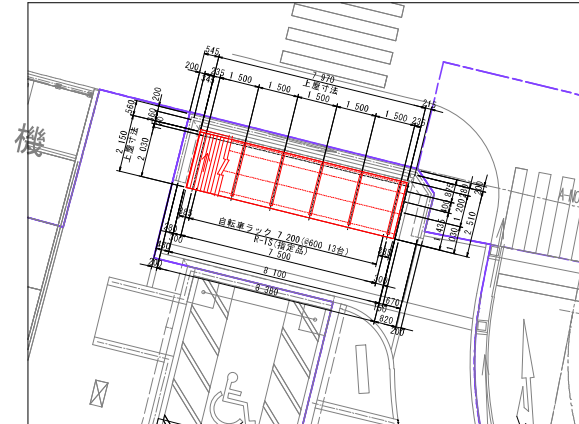
上屋(新設) N=1棟(基礎工6基)
舗装工(コンクリート舗装) A=18.5m2
自転車ラック N=13台



平面図 S=1:100



屋根伏図 S=1:100

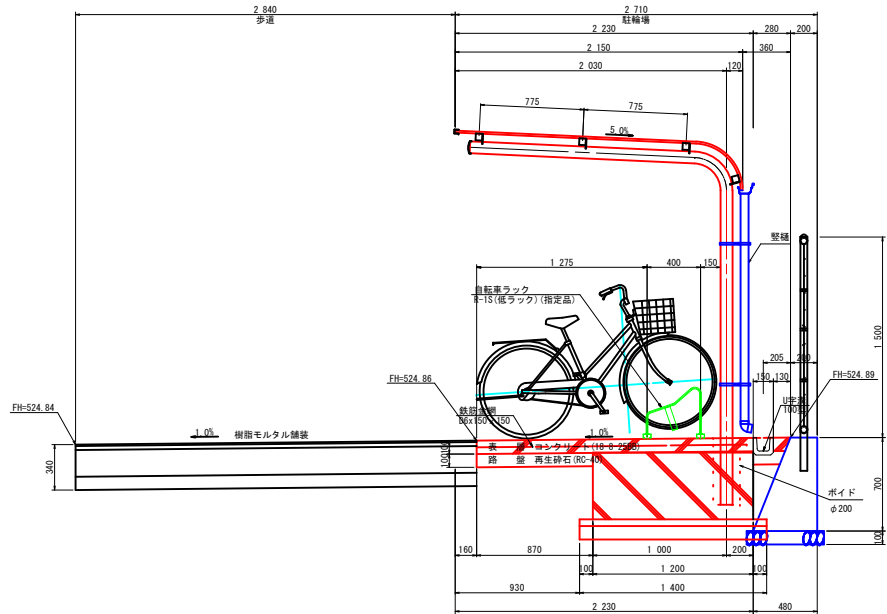


※1 製品は参考図を示す。
※2 使用材料は同等品以上の規格とする。
※3 現場状況等に応じ規格を決定すること。

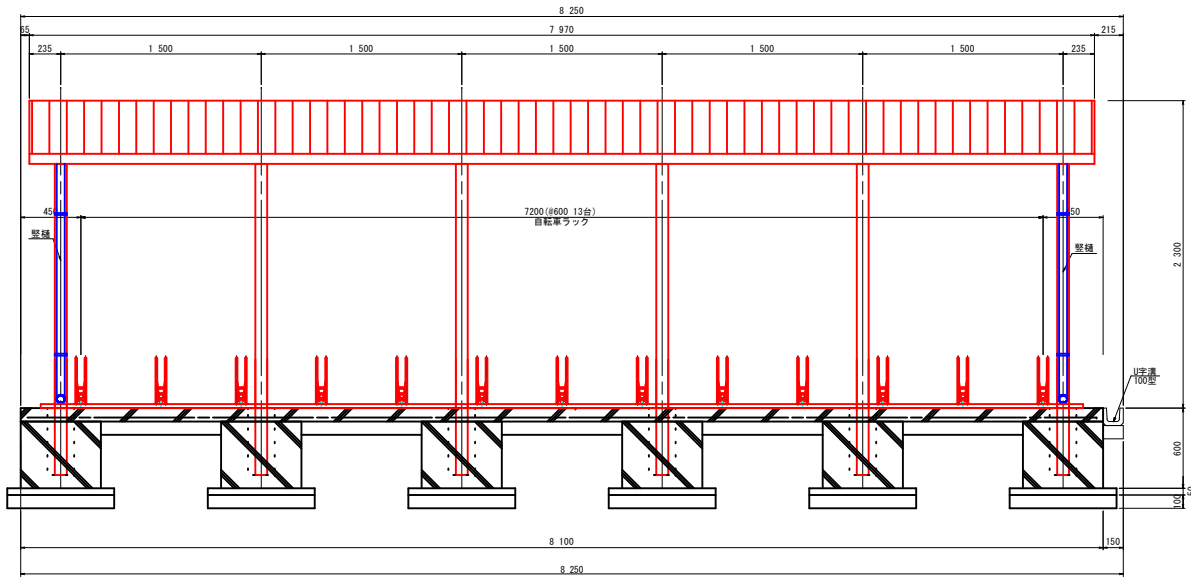
駐輪場施設構造図(1)

R4年度(2工区)

断面図 S=1:20

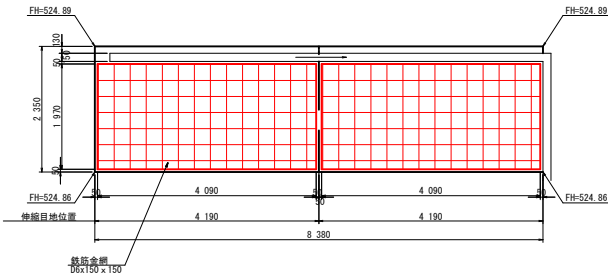


正面図 S=1:20

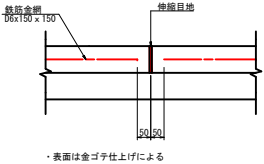


鉄筋金網・目地詳細図

配置平面図 S=1:50



目地部断面図 S=1:10



仕 様		駐輪場上屋 15 (指定品)
名 称	寸 法・仕 様	
全 長	1,500	
高 全 厚	2,350	
柱・梁	F-φ80 1x4.3 (炭素鋼管埋め込み鋼筋)	
母 屋	12-55x50x1.6 (炭素鋼管埋め込み鋼筋)	
屋根・窓枠材	ガルバリウム鋼板	807-15
壁の仕上がり		
用 材	軒端・端柱・窓柱・端柱・端柱	
窓 枠	鉄骨埋め込み窓	
断 熱	断熱材埋め込み	
断 熱 厚	100mm (R 値 0.06)	
断 熱 材	断熱材埋め込み	

仕 様		自転車ラック R-15 (指定品)
名 称	仕 様	仕 様
ベースアングル	2-40x30x12.5x2.3	鉄骨埋め込み
タイヤガード(横欄)	φ150埋め込み	鉄骨埋め込み
タイヤガードベース	FL-3x28x35	鉄骨埋め込み
アンカーボルト	φ12x50	鉄骨埋め込み
鋼管の長さ	φ150x12.5	鉄骨埋め込み
横欄の長さ	φ150x12.5	鉄骨埋め込み

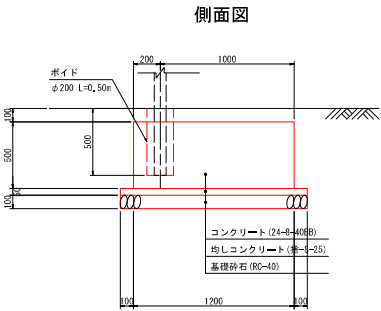
※1 製品は参考図を示す。
※2 使用材料は同等品以上の規格とする。
※3 現場状況等に応じ規格を決定すること。

令和4年度	都市構造再編集中支障事業
29/38	駅前広場整備工事(2工区)
駐輪場施設構造図(1)	図 1:100
安曇野市明科中川手	
安曇野市役所	

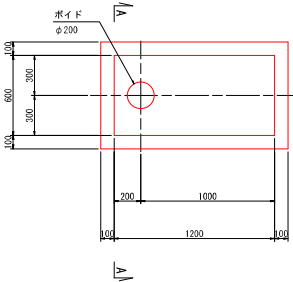
駐輪場施設構造図(2)

R4年度(2工区)

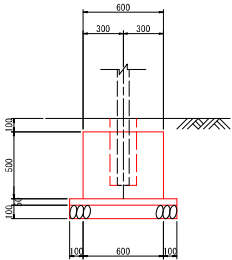
基礎工構造図 S=1:20



平面図



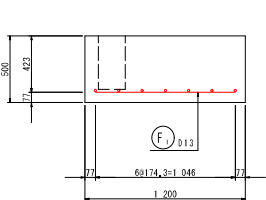
A-A断面



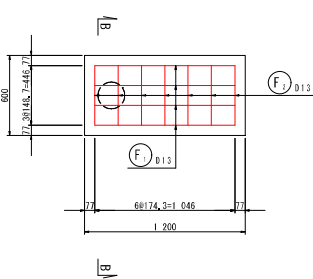
材料表				基礎工1箇所当り	
名 称	規 格	単位	要 量		
コンクリート	24-8-4088	m ³	3.38		
均しコンクリート	均し-25	m ³	0.98		
砕石	RC-40	m ³	1.80		
基礎砕石	RC-40 1-10mm	m ³	1.12		

基礎工配筋図 S=1:20

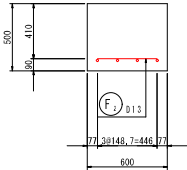
断面図



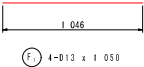
平面図



B-B断面



鉄筋加工図



鉄筋質量表

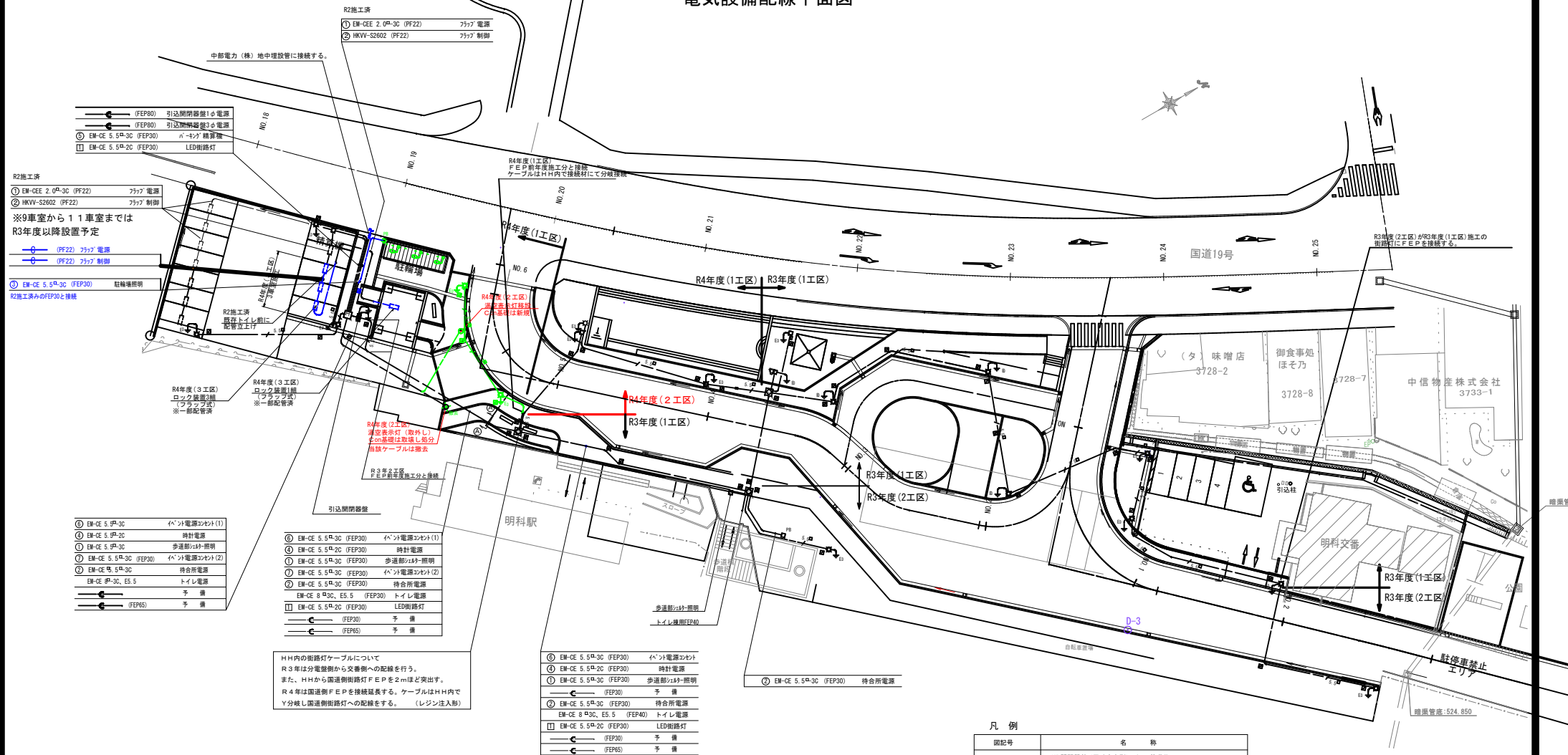
(1基当り)							
種 別	径	長 さ	本 数	単 位 質 量	1本当り質量	質 量	備 考
F 1	D 13	1 050	4	0.995	1.045	4	—
F 2	D 13	450	7	0.995	0.448	3	—
							7
合 計 D 13							7 kg
総質量							7 kg SD345

※1 製品は参考図を示す。
※2 使用材料は同等品以上の規格とする。
※3 現場状況等に応じ規格を決定すること。

電気設備構造図(1)
電気設備配線平面図

S=1:250

R4年度(2工区)



- R2施工区
- ① EM-CEE 2.0^A-3C (PF22) フラッパ電源
 - ② HKVV-S2602 (PF22) フラッパ制御
- 中部電力(株) 地中埋設管に接続する。
- ① (FEP80) 引込開閉器1φ電源
- ② (FEP80) 引込開閉器3φ電源
- ③ EM-CE 5.5^A-3C (FEP30) n-キック 誘導機
- ④ EM-CE 5.5^A-2C (FEP30) LED街路灯

- R2施工区
- ① EM-CEE 2.0^A-3C (PF22) フラッパ電源
 - ② HKVV-S2602 (PF22) フラッパ制御
- ※9車室から11車室までは
R3年度以降設置予定
- ① (FEP22) フラッパ電源
- ② (FEP22) フラッパ制御
- ③ EM-CE 5.5^A-3C (FEP30) 駐輪場照明
- R2施工区のみFEP30と接続
- R4年度(3工区)
ロック装置3組
(フラップ式)
※一部配管済
- R4年度(3工区)
ロック装置1組
(フラップ式)
※一部配管済
- R4年度(2工区)
車室表示灯(取外し)
その基礎は取壊し処分
当該ケーブルは撤去
- R3年度2工区
FEP前年度施工区と接続
- 引込開閉器
- ① EM-CE 5.5^A-3C イベント電源コネクタ(1)
- ② EM-CE 5.5^A-2C 時計電源
- ③ EM-CE 5.5^A-3C 歩道部ライト照明
- ④ EM-CE 5.5^A-3C イベント電源コネクタ(2)
- ⑤ EM-CE 5.5^A-3C 待合所電源
- EM-CE 8^A-3C, ES.5 (FEP40) トイレ電源
- EM-CE 5.5^A-2C (FEP30) LED街路灯
- EM-CE 5.5^A-3C (FEP30) 予備
- EM-CE 5.5^A-2C (FEP30) 予備
- EM-CE 5.5^A-3C (FEP30) 待合所電源
- EM-CE 8^A-3C, ES.5 (FEP40) トイレ電源
- EM-CE 5.5^A-2C (FEP30) LED街路灯
- EM-CE 5.5^A-3C (FEP30) 予備
- EM-CE 5.5^A-2C (FEP30) 予備

H H内の街路灯ケーブルについて
R 3年は分電室側から交番側への配線を行う。
また、H Hから国道側街路灯 F E Pを2mほど突出する。
R 4年は国道側 F E Pを接続延長する。ケーブルはH H内で
Y分岐し国道側街路灯への配線をする。(レジン注入形)

- ① EM-CE 5.5^A-3C (FEP30) イベント電源コネクタ
- ② EM-CE 5.5^A-2C (FEP30) 時計電源
- ③ EM-CE 5.5^A-3C (FEP30) 歩道部ライト照明
- ④ EM-CE 5.5^A-3C (FEP30) 予備
- ⑤ EM-CE 5.5^A-3C (FEP30) 待合所電源
- EM-CE 8^A-3C, ES.5 (FEP40) トイレ電源
- EM-CE 5.5^A-2C (FEP30) LED街路灯
- EM-CE 5.5^A-3C (FEP30) 予備
- EM-CE 5.5^A-2C (FEP30) 予備

凡例

- 令和4年度2工区①工事
- 令和4年度2工区②工事

凡 例

図記号	名 称
■	引込開閉器 (屋外自立型) コナール基礎共
■	LED街路灯 H-4500 コナール基礎共
○	直付形LED灯 (防塵・防雨形) 参考品番: LEXTW207163N-L59
○	露出ボックス
□	2' 84" ヲタ (150×150×100 WP SUS)
↓	接地工事 D種
---	露出配管・配線
---	地中埋設管路・配線
(注) 地中埋設管路の埋設深さは原則として下記とする。	
1) 車道部: 1200mm以上	
2) その他: 700mm以上	
EM-CE 5.5 ^A -2C (FEP 30)	
ハコ	ハコ 8-8 (900×900×1200) 化粧蓋
■	樹脂製ハコ 8-8 (330×330×490) 蓋: 鋼鉄製 φ545
■	埋設標 (鉄製)

※1 製品は参考図を示す。
※2 使用材料は同等品以上の規格とする。

令和4年度	都市構造再編集中支線事業 明科駅前広場整備工事(2工区)
第 34 号	電気設備構造図(1)
縮 尺	1:250
安曇野市明科中川手	
安曇野市役所	

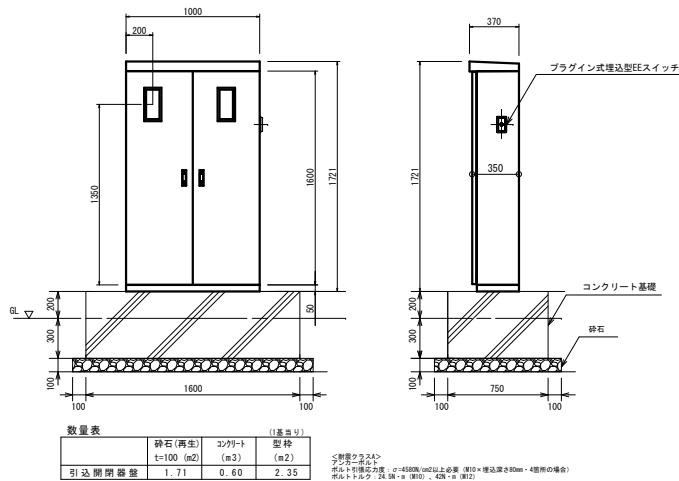
電気設備構造図(2)

照明・時計・引込開閉器盤

R4年度(2工区)

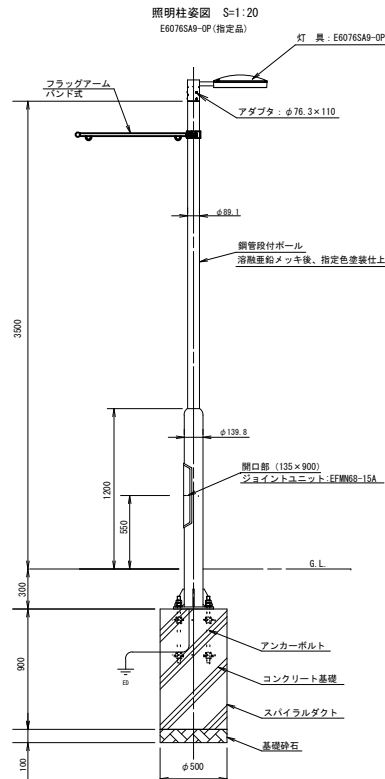
引込開閉器盤
R2年度施工図済

S=1:20

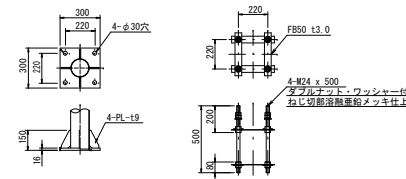


機 名 称	引込開閉器盤 (屋外自立型)		細配線 指定色	
	A C 1 φ 3 W 100V/200V	A C 3 φ 3 W 200V	負荷名称	負荷容量
電 装 方 式	種 類・電圧	遮断容量		
1 φ 3 W 100V/200V 100A 100A 100A 100A 100A 100A 100A 100A 100A 100A				
セパレータ 100A 100A 100A 100A 100A 100A 100A 100A 100A 100A				

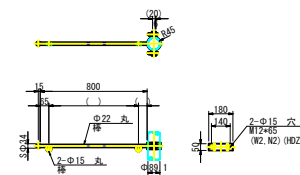
街路灯構造図



ベースプレート詳細図 S=1:20 アンカーボルト詳細図 S=1:20



フラッグアーム(バンド式)詳細図 S=1:20



※()内のピッチに関しては、指示により決定する。

名 称	仕 様	数 量
照明器具 E6076SA9-OP	指定色塗装仕上 LED 35W 配光制御レンズ	1台
ポール PM5030-380986/A24	STKφ139.8-t3.5, STKφ89.1-t2.8 PL-t16.0 溶融亜鉛メッキ後、指定色塗装仕上	1本
アンカーボルト	4-M25×500 ネジ部溶融亜鉛メッキ	1組
安全器		1個
LED制御装置		1台
フラッグアーム	バンド式	1組

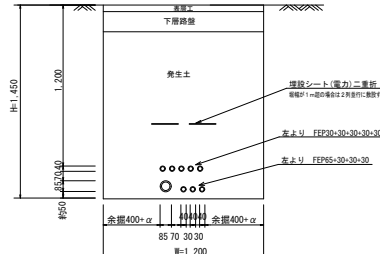
名 称	仕 様	数 量
スパイラルダクト	φ500	0.9 m
基礎コンクリート		0.177m3
基礎砕石	t=10cm	0.197m2
砕石		1.413m2
D種接地		1ヶ所

駐輪場 LED照明器具

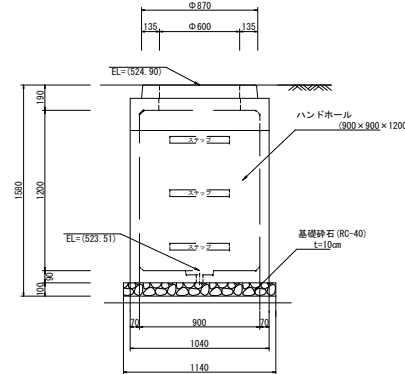


- LEK180271648-L39
- LED (昼白色)
 - 寸法: 幅70×高さ100×奥行70
 - 素材: 鋼板 白
 - LED(4×1)ポリカーボネート 乳白
 - 定格電圧: AC100V~242V
 - 消費電力: 11.9W (AC200V時)
 - 器具光束: 1,520 lm 照度(中心点): 122.5 lx/m²
 - 寿命: 40,000時間 (光衰率50%時)
 - 耐湿性: 95%RH 平均湿度許容範囲 (RH): 80
 - 質量: 1.5kg
 - LED-スライム180200シリーズ 直付型 防雨・防塵タイプ 幅70

埋設管路(A)-(A) 断面図 S=1:20



ハンドホール設置工詳細図 S=1:20



※1 製品は街路灯及び時計は指定品、その他参考図を参照。

※2 使用材料は同等品以上の規格とする。

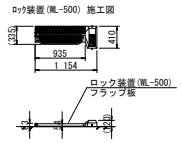
令和4年度	都市計画局建築中支援事業	明神駅広域修繕工事(2工区)
35/38	電気設備構造図(2)	図示
安曇野市明神中川手		
安曇野市役所		

電気設備構造図(3)
車両ロック装置・満空表示灯・車止め

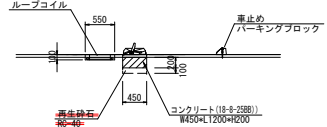
R4年度(2工区)

車両ロック装置
駐車場車室 S=1:50

正面図

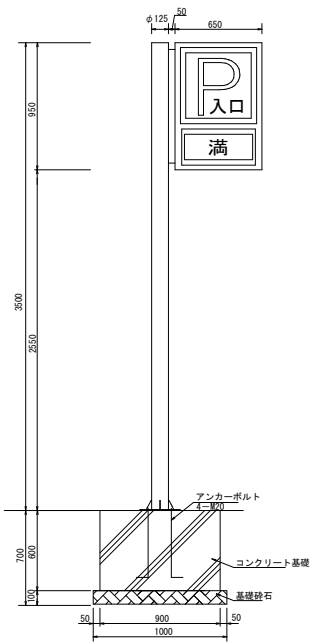


断面図

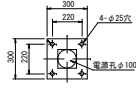


数量表		(1基当り)	
砕石(再生)	コンクリート	型枠	
t=100 (m2)	(m3)	(m2)	
車両ロック装置	0.10	0.64	

満空表示灯詳細図 S=1:20

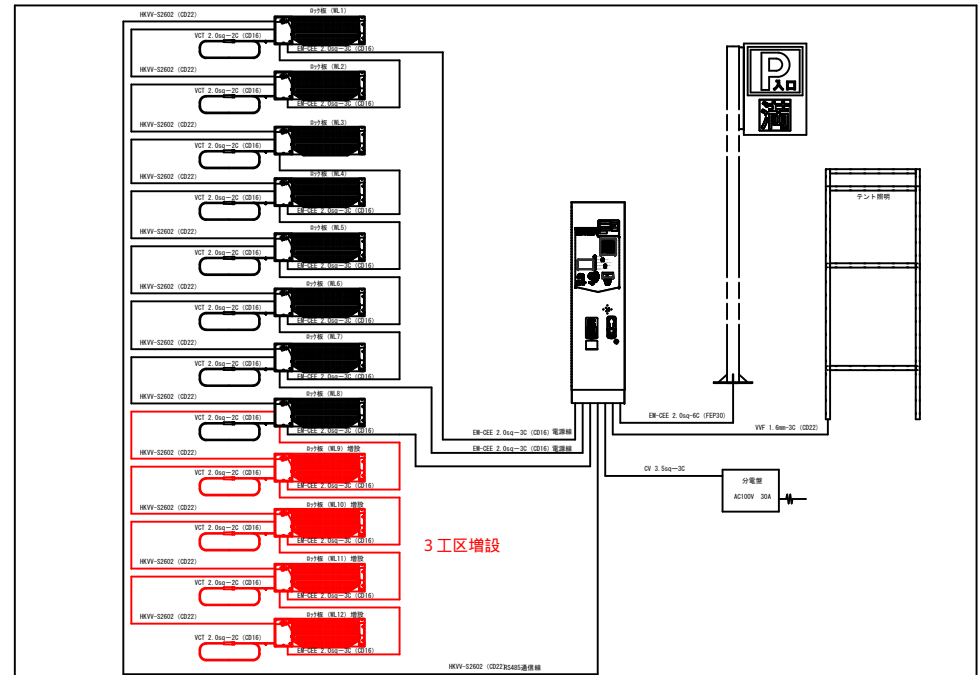


ベースプレート詳細図 S=1/10



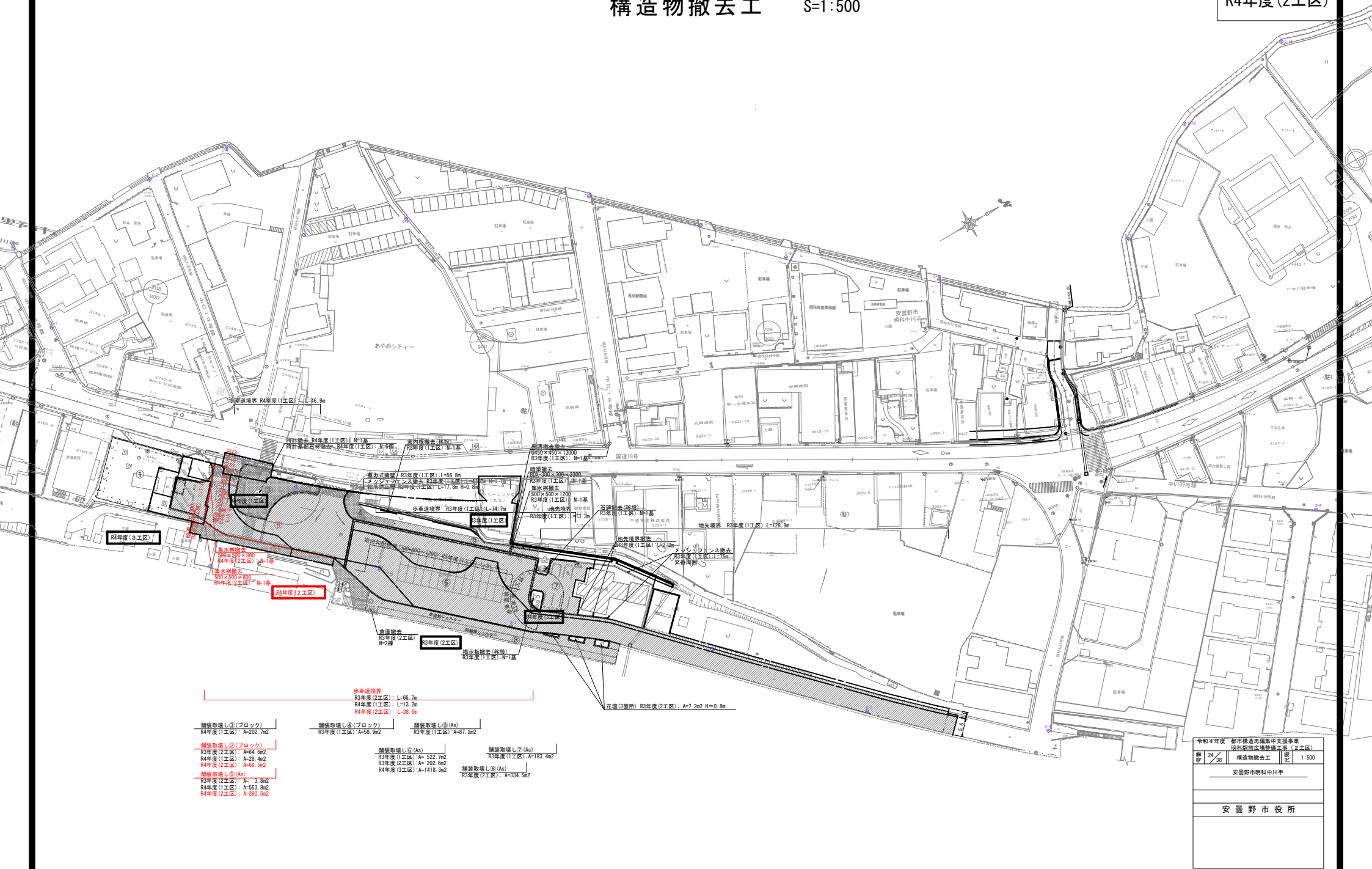
数量表		(1基当り)	
砕石(再生)	コンクリート	型枠	
t=100 (m2)	(m3)	(m2)	
満空表示灯	1.0	0.49	2.16

フラップ板系統図



構造物撤去工 S=1:500

R4年度(2工区)



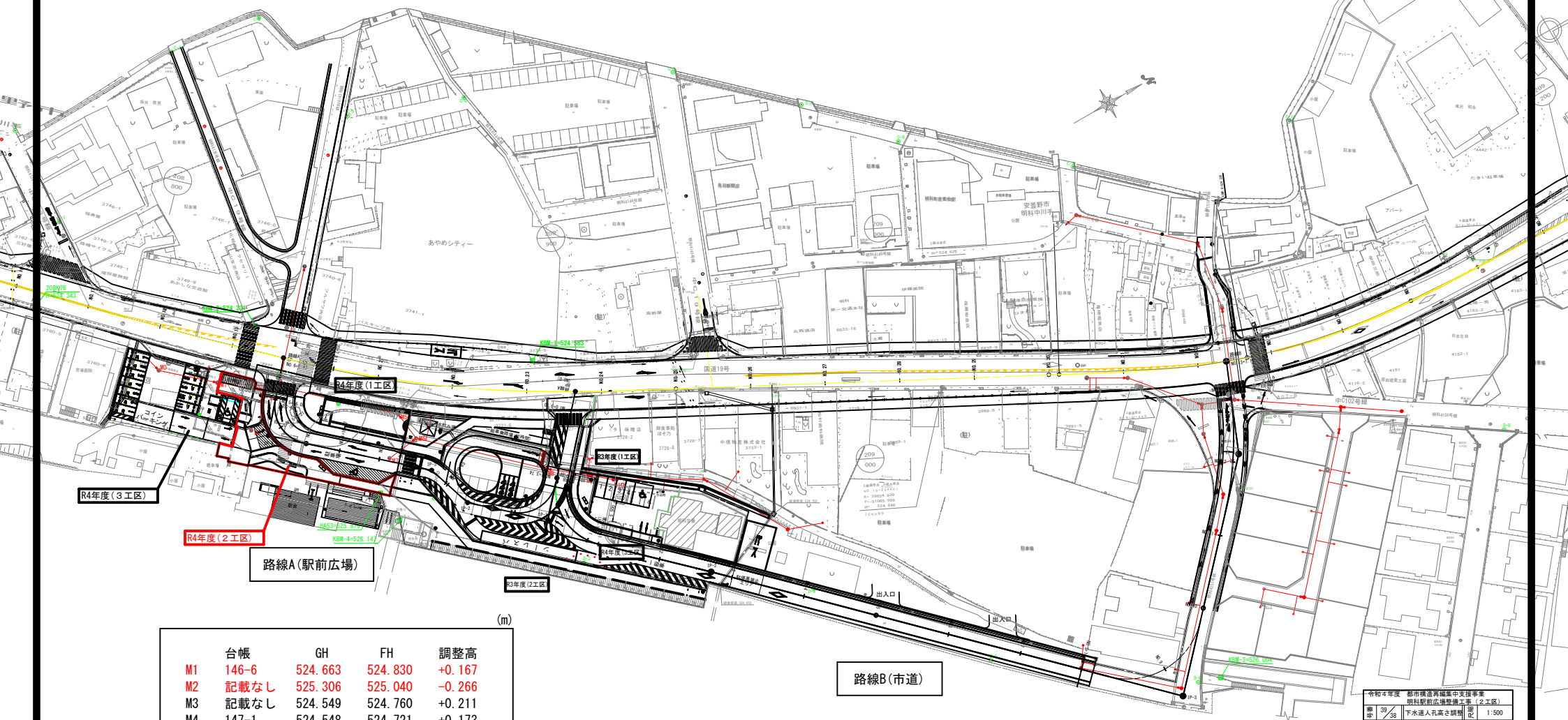
- 舗装撤去③(ブロック)
R4年度(1工区): A=202.1m2
- 舗装撤去②(ブロック)
R3年度(2工区): A=64.6m2
R3年度(1工区): A=28.4m2
R4年度(2工区): A=69.5m2
- 舗装撤去⑤(A)
R3年度(2工区): A=3.8m2
R4年度(1工区): A=553.8m2
R4年度(2工区): A=390.5m2
- 舗装撤去④(ブロック)
R3年度(1工区): A=35.5m2
- 舗装撤去⑥(A)
R3年度(1工区): A=522.7m2
R3年度(2工区): A=202.6m2
R4年度(2工区): A=1418.3m2
- 舗装撤去⑦(A)
R3年度(1工区): A=183.4m2
- 舗装撤去⑧(A)
R3年度(1工区): A=334.5m2

令和4年度		都市構造再編集中核事業	
第24期		明科駅前広場整備工事(2工区)	
図	24-38	構造物撤去工	図 1:500
安曇野市明科中川手			
安曇野市役所			

下水道人孔高さ調整 S=1:500

R4年度(2工区)

安曇野市明科中川手
(明科駅前広場)



(m)

	台帳	GH	FH	調整高
M1	146-6	524.663	524.830	+0.167
M2	記載なし	525.306	525.040	-0.266
M3	記載なし	524.549	524.760	+0.211
M4	147-1	524.548	524.721	+0.173
M5	210-6	524.665	525.260	+0.595
M6	210-5	525.325	525.750	+0.425
M7	210-5-1	525.412	525.756	+0.344
M8	210-4	525.865	525.390	-0.466
M9	210-3-2	525.950	525.510	-0.440
M10	210-3-1	526.020	525.990	-0.030